

埼玉県熊谷市埋蔵文化財調査報告書 第19集

# 石原古墳群V 不二ノ腰遺跡IV

2015

埼玉県熊谷市教育委員会

石原古墳群V  
不二ノ腰遺跡IV

二〇一五  
埼玉県熊谷市教育委員会

埼玉県熊谷市埋蔵文化財調査報告書 第19集

いしわら こふんぐん  
石原古墳群V

ふじのこしいせき  
不二ノ腰遺跡IV

2015

埼玉県熊谷市教育委員会

## 序

私たちの郷土熊谷は、原始・古代の集落跡等の埋蔵文化財が数多く分布することで知られています。こうした埋蔵文化財は、郷土の発展やその過程を物語る証であるとともに、私たちの子孫の繁栄の指標ともなる先人の貴重な足跡であります。

しかしながら、近年においては、多くの開発行為に伴い、我々の郷土の景観は変化しております。このような現状の中で、失われつつある文化財を保護し、それらを次世代に伝えていくことは我々の大きな課題であり、責務であるはずで

さて、石原古墳群・不二ノ腰遺跡は、熊谷市広瀬地内に所在する古代の遺跡であります。また、過去における発掘調査等により、付近一帯には古代の集落が分布していることが確認されております。

この度、この遺跡の一部に地権者より分譲住宅建設の開発計画がもちあがりました。熊谷市教育委員会では、遺跡の保護と保存について、開発業者と協議を重ねてまいりましたが、事業計画の変更が難しかったことから、熊谷教育委員会で記録保存のための措置を講ずることとなりました。

本書は、平成26年1月から3月にかけて実施された記録保存のための発掘調査の成果をまとめたものでございます。今回の調査によって、本遺跡における集落の状況が徐々に明らかになってきました。

本書が埋蔵文化財の保護、学術研究の基礎資料として、また埋蔵文化財の普及・啓発として広く活用されることとなれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査及び報告書刊行に至るまで、文化財保護法の趣旨を御理解、御協力を賜りました地権者株式会社ファイブイズホーム、並びに地元関係者各位に厚く御礼申し上げます。

平成27年3月

熊谷市教育委員会  
教育長 野原 晃

## 例 言

- 1 本書は、埼玉県熊谷市広瀬字後田84番に所在する石原古墳群・不二ノ腰遺跡（埼玉県遺跡番号59-25、59-102）の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査届出に対する埼玉県教育委員会からの指示通知は、平成25年8月19日付教生文第5-448号である。
- 3 本調査は、分譲住宅建設に伴う事前の記録保存のための発掘調査であり、地権者株式会社ファイブイズホームの委託を受け、熊谷教育委員会が実施した。
- 4 本事業の組織は、I章のとおりである。
- 5 発掘調査期間は、平成26年1月27日から平成26年3月14日までである。  
また整理・報告書作成期間は、平成26年5月1日から平成27年3月27日までである。
- 6 発掘調査及び、本書の執筆・編集は腰塚 博隆が行い、吉野 健がその補佐をした。
- 7 写真撮影は、発掘調査・遺物ともに腰塚が行った。
- 8 出土遺物は、熊谷市教育委員会で保管している。
- 9 本書の作成にあたり多くの方々から御教示、御協力を賜った。記して感謝いたします。

## 凡 例

- 本文中、遺構の表記記号は、次のとおりである。  
SI……住居跡、SD……溝跡、SK……土坑、P……ピット、SX……性格不明遺構
- 土層断面及び遺構図面中の表記記号は、次のとおりである。  
S……川原石  
▲……小礫  
●……遺物片
- 遺構挿図の縮尺は、次のとおりである。  
遺構全測図… 1/200、調査区遺構図… 1/60、住居跡・溝跡・土坑・性格不明遺構… 1/60、ピット… 1/40
- 遺構土層断面図及びエレベーション図のポイントの標高は、原則としてその都度表記して示した。
- 土層断面中に示されている表記記号の色調は、以下のとおりである  
I 耕作土  
II 黄灰色土2.5Y-4/1 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量、暗灰黄色土2.5Y-4/2少量含)  
III 灰黄褐色土10YR-4/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量、黄灰色土2.5Y-4/1少量含、炭化物一部に有)  
IV 暗灰黄色土2.5Y-4/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量、少々粘質、褐灰色土10YR-4/1多量)  
V 暗灰黄色土2.5Y-4/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量、一部粘質)
- 遺物実測図の縮尺は、1/4である。ただし、一部に限り1/2である。
- 遺物実測図の中で、中心線はすべて実線で示し、遺物観察表にできる限り残存率で示した。また、土師器の断面は白抜き、須恵器の断面は黒塗りで示した。
- 挿図中の遺物番号は、遺物実測図及び遺物観察表の番号と一致している。
- 遺物観察表の凡例は、次のとおりである。  
法量の単位は、cmである。また、推定値は括弧付けで示した。  
胎土は、土器に含まれる含有鉱物を以下の記号で示した。  
A…白色粒子、B…黑色粒子、C…赤色粒子、D…褐色粒子、E…赤褐色粒子、F…白色針状物質、  
G…長石、H…石英、I…白雲母、J…黒雲母、K…角閃石、L…片岩、M…砂状、N…礫  
色調は、『新版標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会議事務局監修2010年版）に照らし最も近似した色相を示した。

# 目 次

序	.....	I
例 言	.....	II
凡 例	.....	III
目 次	.....	IV
I 発掘調査の概要	.....	1
1 調査に至る経過	.....	1
2 発掘調査・報告書作成の経過	.....	1
3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織	.....	2
II 遺跡の立地と環境	.....	2
III 遺跡の概要	.....	11
1 調査の方法	.....	11
2 検出された遺構と遺物	.....	11
IV 遺構と遺物		
1 住居跡	.....	11
2 溝跡	.....	24
3 土坑	.....	26
4 ビット	.....	28
5 遺構外出土遺物	.....	36
V 調査のまとめ	.....	37

# 挿 図 目 次

第1図	埼玉県の地形図	第16図	第4号住居跡出土遺物
第2図	周辺遺跡分布図	第17図	第5号住居跡
第3図	石原古墳群・不二ノ腰遺跡位置図	第18図	第5号住居跡出土遺物(1)
第4図	石原古墳群・不二ノ腰遺跡全測図	第19図	第5号住居跡出土遺物(2)
第5図	A区全測図	第20図	第3号・第4号溝跡出土遺物
第6図	B区全測図	第21図	第1号～5号溝跡
第7図	C区全測図	第22図	第1号～5号土坑
第8図	第1号住居跡	第23図	第6・7号土坑・性格不明遺構
第9図	第1号住居跡出土遺物	第24図	第2・6・7号土坑出土遺物
第10図	第2号住居跡	第25図	第1号～第11号ビット
第11図	第2号住居跡出土遺物(1)	第26図	第12号～第22号・第25ビット
第12図	第2号住居跡出土遺物(2)	第27図	第23号・24号、第26～34号ビット
第13図	第3号住居跡	第28図	第12号・14号・31号ビット出土遺物
第14図	第3号住居跡出土遺物	第29図	遺構外出土遺物
第15図	第4号住居跡		

# 表 目 次

第1表	第1号住居跡出土遺物観察表(第9図)	第6表	第3号・4号溝跡出土遺物観察表(第21図)
第2表	第2号住居跡出土遺物観察表(第11・12図)	第7表	第2号・6号・7号土坑出土遺物観察表(第24図)
第3表	第3号住居跡出土遺物観察表(第14図)	第8表	第12号・14号・31号ビット出土遺物観察表(第28図)
第4表	第4号住居跡出土遺物観察表(第16図)	第9表	遺構外出土遺物観察表
第5表	第5号住居跡出土遺物観察表(第18・19図)		

# 図 版 目 次

図版 1	A区全景 B区全景	第11図—29、第12図—19 第12図—14、第12図—25 第12図—26
図版 2	C区全景 第1号住居跡 遺物出土(A区) 第1号住居跡 遺物(A区) 第1号住居跡 遺物(A区) 第1号住居跡が全景(A区)	図版 6 第9図—3、第12図—21 第12図—22、第12図—23 第14図—5、第14図—7 第14図—8、第12図—13 第15図—27、第14図—6 第14図—1、S103—鉄滓 第14図—2、第16図—01 第16図—02、第16図—03
図版 3	第2号住居跡 全景(A区) 第3号住居跡(B区)(遺物・床礫堆積) 第3号住居跡 全景(B区) 第4号住居跡 カマド遺物(B区) 第4号住居跡 カマド 断面(B区) 第4号住居跡 全景(B区) 第5号住居跡 カマド 断面(C区) 第5号住居跡 カマド遺物(C区)	図版 7 第16図—4、第16図—10 第16図—12、第16図—11 第14図—5、第18図—2 第18図—13、第18図—15 第16図—14、第18図—16 第19図—21、第19図—23 第19図—24、第19図—22 第19図—26、第19図—27
図版 4	第5号住居跡鉄製品(C区) 第5号住居跡 全景(C区) 第5号土坑(B区) 第6号土坑及びSX01(C区) 第7号土坑(C区)	図版 8 第18図—17、第18図—18 第18図—19、第18図—20 第19図—30、第16図—15 第19図—25
図版 5	第4、3号溝跡(B区) 第3号土坑、第9～18号ビット(A区) 第19～24号ビット(B区)	図版 9 第19図—31、第20図—4 第28図—4、第29図—10 第29図—12、第29図—14 第29図—13、第29図—18 第29図—15、第29図—19 第29図—20、作業員作業風景
	第1号～4号ビット(A区) 第9図—4、第9図—7 第9図—8、S101—鉄滓 第11図—1、第11図—12 第11図—11、第11図—17 第11図—18、第11図—20	

## I 発掘調査の概要

### 1 調査に至る経過

平成25年2月26日付けで、株式会社ファイブイズホームから埼玉県教育委員会あてに、文化財保護法第93条第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘の届出があった。開発の内容は面積811.13m<sup>2</sup>の宅地造成及び分譲住宅4棟の建設であった。

熊谷市教育委員会は届出を受けて、平成25年7月4日に試掘調査を実施した。その結果、4棟のうち3棟分について、奈良時代から平安時代の土師器・須恵器片及び住居跡が検出され、埋蔵文化財の所在が確認された。

その後、埋蔵文化財の所在が確認された旨を株式会社ファイブイズホームに回答するとともに、その保存に関する協議を重ねたが、工事は保護層が設けられない工法で行うものであり、計画の変更は不可能であると判断されたため、記録保存のための発掘調査を実施することとなった。

発掘調査に当たって、熊谷市教育委員会は、当該地における埋蔵文化財の取扱いについて、平成26年1月10日と埋蔵文化財包蔵地発掘調査委託契約書を締結し、発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は、熊谷市教育委員会から、平成26年1月24日付熊教社第1771号で、文化財保護法第92条第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘調査の届出が提出され、平成26年1月27日から開始された。

なお、埼玉県教育委員会から、株式会社ファイブイズホームあてに平成25年8月19日付教生文第4-448号で発掘調査実施の指示通知があった。

発掘調査終了後、平成26年4月11日には遺物整理および報告書刊行のための埋蔵文化財包蔵地発掘調査委託契約書（整理）を株式会社ファイブイズホームと締結し、整理作業および報告書の刊行までの委託を受けた。

### 2 発掘調査・報告書作成の経過

#### (1) 発掘調査

発掘調査は、平成26年1月27日から平成26年3月14日にかけて行われた。調査面積は、分譲住宅建設工事（計4棟）面積328m<sup>2</sup>のうち、遺構・遺物が確認され破壊を受ける164m<sup>2</sup>（3棟分）であった。

平成26年1月27日に遺構確認面まで重機による表土剥ぎを行い、1月28日から遺構精査作業を行った。その際、住居跡、溝跡、多数の土坑、ピットなどが確認され、順次遺構の調査に着手した。調査は3棟分の分譲住宅建設予定地であったため、各々の調査区をA・B・C区と呼称し行った。大部分の遺構は検出が比較的容易であったが、調査区うちC区では、地山との差が不明瞭であったこと、2月には関東一円で記録的な大雪に見舞われたことから、遺構の検出および作業自体に困難を要した。

平成26年3月14日、調査のすべてを終了した。

#### (2) 整理・報告書作成作業

整理作業は、平成26年5月1日から始めた。遺物の洗浄・注記・復元を行った。9月までに順次、遺物の実測、拓本取りを行った。10月からは遺構の図面整理作業を行い、遺構・遺物図面のトレース、遺構・遺物の図版組を行い、2月下旬には、原稿執筆、割付等の作業をして、報告書の印刷に入り、校正を行った後、3月27日に本報告書を刊行した。



### 3 発掘調査、整理・報告書刊行の組織

主体者 熊谷市教育委員会

#### (1) 発掘調査

平成25年度

教育長

教育次長

社会教育課長

社会教育課副参事

社会教育課副課長兼文化財保護係長

野原 晃

鯨井 勝

岩上 精純

根岸 敏彦

森田 安彦

主幹 吉野 健

主査 松田 哲

主査 杉浦 朗子

主任 蔵持 俊輔

主任 山下 祐樹

主任 腰塚 博隆

#### (2) 整理・報告書作成

平成26年度

教育長

教育次長

社会教育課長

社会教育課副参事

社会教育課副課長兼文化財保護係長

野原 晃

米澤ひろみ

岩上 精純

森田 安彦

吉野 健

主査 松田 哲

主査 杉浦 朗子

主査 小島 洋一

主任 蔵持 俊輔

主任 山下 祐樹

主任 腰塚 博隆

## II 遺跡の立地と環境

石原古墳群・不二ノ腰遺跡は、熊谷市広瀬字後田84番に所在し、JR高崎線熊谷駅の北西約3.5km、荒川から北へ約1.5km、利根川から南へ約10.0kmに位置する。

石原古墳群・不二ノ腰遺跡の所在する広瀬地区は、熊谷市の中央西部にあたり、櫛挽台地の北端及びその北と北東に展開する妻沼低地にある。櫛挽台地は寄居町末野付近を扇頂に、荒川の両岸に広がる洪積扇状地である荒川扇状地の荒川左岸側に一帯が浸食されてきたものである。そして、本遺跡が立地する妻沼低地は、利根川及びその支流により形成された沖積地であり、熊谷市の大半を覆っている洪積扇状地の新荒川扇状地（熊谷扇状地）と自然堤防が広がる地区に分けられる。本遺跡は、その荒川左岸の新荒川扇状地上、標高約36.5m前後に立地し、水田地となっていた。遺跡を覆っていた土は、関東造盆地運動による地盤の沈下及び荒川の度重なる河川氾濫の影響で、およそ45～50cmの厚さをもっていた。



第1図 埼玉県の地形

次に、本遺跡を中心に擁掩台地及び妻沼低地における歴史環境の一端を簡単に見ていきたいと思う。

まず、縄文時代であるが、この時期の遺跡の発見は極めて少ない状況である。市の南部に位置する江南台地を除き、擁掩台地さらには妻沼低地にも発見例が少々ある。寺東遺跡では前期間山式土器が、三ヶ尻遺跡内の林遺跡でも前期黒浜式期の集落が発見されており、妻沼低地には石田遺跡も存在する。後期に至っては、前述の寺東遺跡で称名寺式期の埋壺を伴う土坑等が発見されており、豊富な土器群が検出された入川遺跡や深町遺跡も知られる。一方、縄文時代晩期から弥生時代前半にかけての市内の発見例はほとんどなく、熊谷市内において本格的展開の知られる遺跡は、現段階では弥生時代中期まで待つことになる。須和田式期の再葬墓が16基発見された横間栗遺跡、同じく須和田式期の壺が発見されている三ヶ尻遺跡内の上古遺跡が知られている。地図には示していないが、北島遺跡・平戸遺跡・前中西遺跡も同時期の遺跡として挙げられ、北島遺跡でも再葬墓や土壌墓群が前中西遺跡では再葬墓と方形周溝墓の2タイプの葬送形態が発見されている。一方、同時期の集落・住居跡が検出されている遺跡としては関下遺跡・飯塚南遺跡が存在する。後期には妻沼低地の各地に遺跡が見られ始め、弥藤吾新田遺跡などが存在する。弥藤吾新田遺跡では南関東系の弥生町式土器が出土している。

古墳時代に入ると、古墳は台地・自然堤防等の微高地に形成され、集落は台地ばかりでなく低地帯の自然堤防上にも営まれるようになり、次第に遺跡数も増加傾向にある。前期では、妻沼低地に大きく遺跡が展開している。横間栗遺跡・別府条里遺跡・一本木遺跡・中耕地遺跡・北島遺跡弥藤吾新田遺跡等がある。横間栗遺跡では住居跡が3軒、北島遺跡では21軒検出されており、北島遺跡さらに弥藤吾新田遺跡等は比較的大規模な集落と推定されている。

中期の様相は、他の時期と比べて不明点が多いが、集落が大規模に展開していくのは中期後半以降となるようである。北島遺跡・中条遺跡内の権現山遺跡・常光院東遺跡（後者2遺跡は地図未掲載）等で遺構・遺物が検出されている。北島遺跡では住居跡から須石器の磁を模倣した土師器小型壺が、権現山遺跡では出現期の竈をもつ住居跡が検出されている。また、集落内の祭祀は東川端遺跡に確認されていて、遺物が集中分布している谷にむかう斜面で剣形の滑石製模倣品が検出されている。また、古墳に目を向けると、数こそ少ないが、妻沼低地の福川の自然堤防に横塚山古墳が存在する。そして、後期になると遺跡は爆発的な増加をみる。台地ばかりではなく自然堤防上にもさらに積極的に進出を図っていったようである。集落は、古墳時代後期から奈良・平安時代へと継続して展開する大規模なものが市内では目立つようになる。擁掩台地及び新荒川扇状地上では、極の上遺跡で古墳時代後期から平安時代の住居跡が150軒以上検出され、このうち古墳時代後期のものは14軒以上に上る。また現在では同遺跡の一部となっている上辻・下辻遺跡でも後期から平安時代の住居が50軒以上検出された。三ヶ尻遺跡内の天王遺跡等でも後期の集落が検出されている。一方、妻沼低地の自然堤防上では、一本木前遺跡・飯塚南遺跡・北島遺跡・小敷田遺跡等が存在する。一本木前遺跡では後期を中心に奈良・平安時代の住居跡が450軒以上検出されており、当該期の祭祀跡も発見され、折り重なるように土師器杯等が出土し、それとともに白玉も出土している。

一方、古墳を見てみると、群を形成して築造されているのがわかる。擁掩台地上の別府古墳群・在家古墳群・龍原裏古墳群・三ヶ尻古墳群・新荒川扇状地の玉井古墳群・広瀬古墳群・石原古墳群等が分布する。これらは概ね6世紀から7世紀ないし8世紀初頭にかけて形成された古墳群である。別府古墳群は、農夫の埴輪を出土している。龍原裏古墳群は川原石乱石積の胴張型横穴式石室を有する古墳群であるが、7世紀後半～8世紀初頭の築造と考えられる八角形の埴形をもつ古墳の存在が知られており、終末期の古墳の様相において見直すことのできない発見である。三ヶ尻古墳群は、前方後円墳の二子山古墳を盟主墳とする100基以上の古墳で形成されている大古墳群であるが、現在でも61基の所在が確認されている（消滅・半壊を含める）。また、広瀬古墳群中の宮塚古墳は、上円下方墳という特異な埴形を今に残し、熊谷市唯一の国指定史跡として知られている。

古墳時代後半に自然堤防上の微高地に形成された集落の多くは、増減するもの奈良・平安時代へと継続されていく。奈良時代には、この地域も律令体制に組み込まれていき、別府条里遺跡等が見られる。このこ

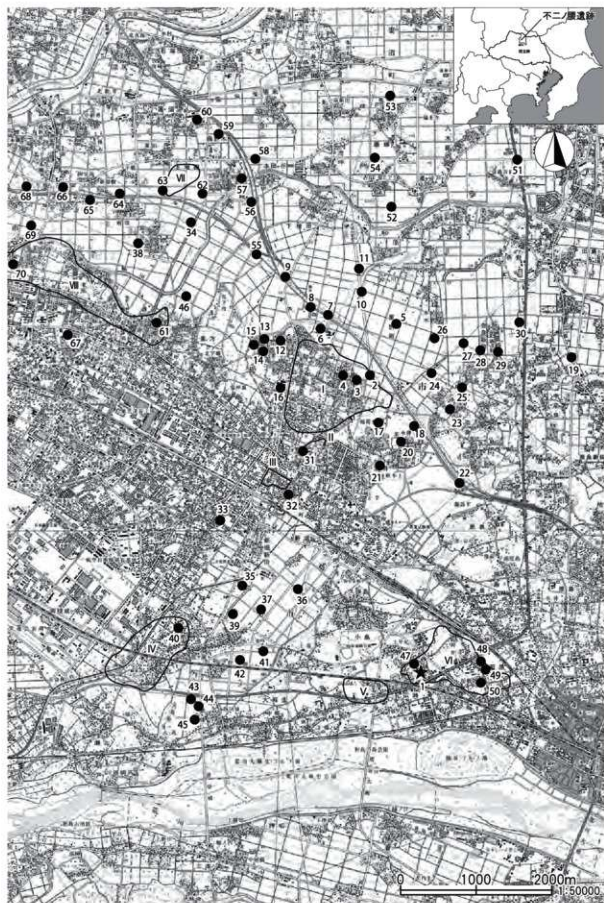
ろの中心的遺跡は榎掩台地上に見られ、この地域には幡羅郡が設置され、台地上に「原郷」の地名が残り、正倉館、厨家、曹司等が発見された幡羅郡家跡の幡羅遺跡、8世紀初頭創建の西別府廃寺、湯泉祭祀跡・西別府祭祀遺跡が存在する。西別府廃寺は二度の発掘調査によって寺域を区画する大溝、伽藍配置は不明であるが基礎建物跡、瓦溜まり状遺構等とともに軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・平瓦が大量に出土し、瓦は8世紀初頭から9世紀後半のものまで確認されており、県内でも滑川町寺谷廃寺に次いで最も古い建立の寺院の一つとして認識されている。また、その北西約200mの湯殿神社裏のかつて湧水があった箇所には西別府祭祀遺跡が所在し、古墳時代後期から平安時代までの土師器・須恵器と共に古墳時代後期の馬形・櫛型・勾玉形・有孔円板形・有線円板形・剣形等の滑石製模造品が約297点発見されており、県内でも類例がほとんどない湧泉に対する祭祀の実態を考える上で貴重な遺跡である。西別府廃寺は、幡羅郡家との関係性を考慮に入れれば、幡羅郡の郡司が関わった郡寺的な機能を有することが考えられるし、郡家成立以前の周辺の古墳群を形成した有力氏族との関係も想定できる。

奈良・平安時代の集落遺跡としては、八瀬地区には本遺跡のほか在家遺跡・籠原裏遺跡・拾六間後遺跡・飯塚南遺跡・新ヶ谷戸遺跡・横塚遺跡・北島遺跡等がある。特に北島遺跡は7世紀から12世紀の大規模な集落で、多数の住居跡とともに大規模な掘立柱建物跡・道路状遺構・河川跡等など、興味深い発見がされている。一本木前遺跡の11世紀初頭の住居跡からは、瑞花鶯鶯八後鏡が出土し、県内初の住居跡出土例として注目されている。

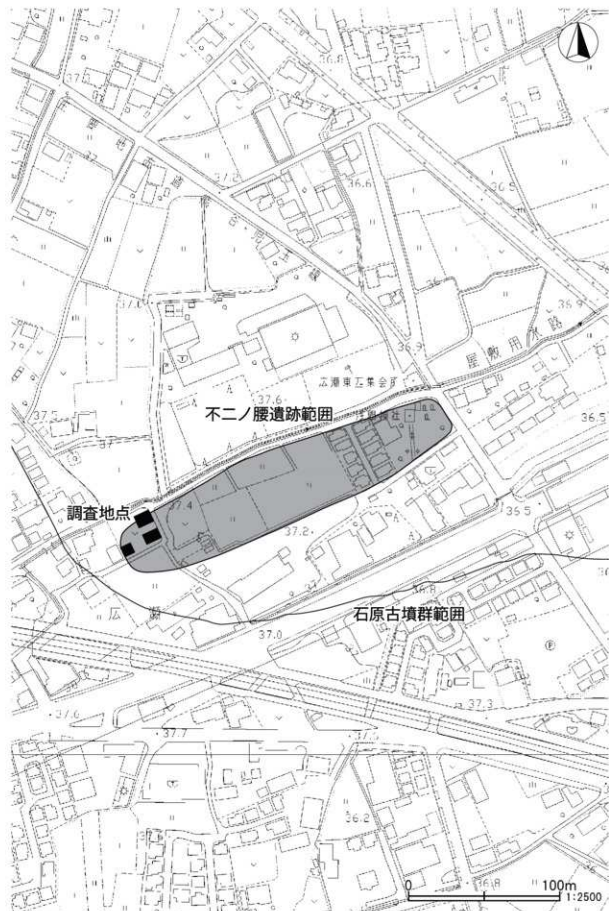
平安時代末から中世になると、武蔵七党やその他の在地武士団の館跡が散在するようになる。別府城跡・別府氏館跡・西別府館跡・玉井陣屋跡・奈良氏館跡・黒沢館跡・兵部裏屋敷等であるが、いずれの館跡も実態は不明である。その中で残りの良いものの中に、本遺跡の北西に位置する別府城跡がある。別府氏の居館で方形の敷地に土塁の一部と空堀をよく残している。また、三ヶ尻地区に所在する黒沢館跡は、発掘調査によって、渡辺崋山が記した『訪録』に残る「黒沢屋敷」の記載と調査結果が合致した貴重な例である。その北側に所在する樋の上遺跡でも、15～16世紀の土壌・集石遺構とともに比較的深くコーナーをもつ溝跡が検出されており、館跡の一部である可能性が考えられている。なお、中世以降の歴史の実態はまだまだ情報不足で、今後の調査成果によるところが多く、情報の蓄積に期待するところであろう。

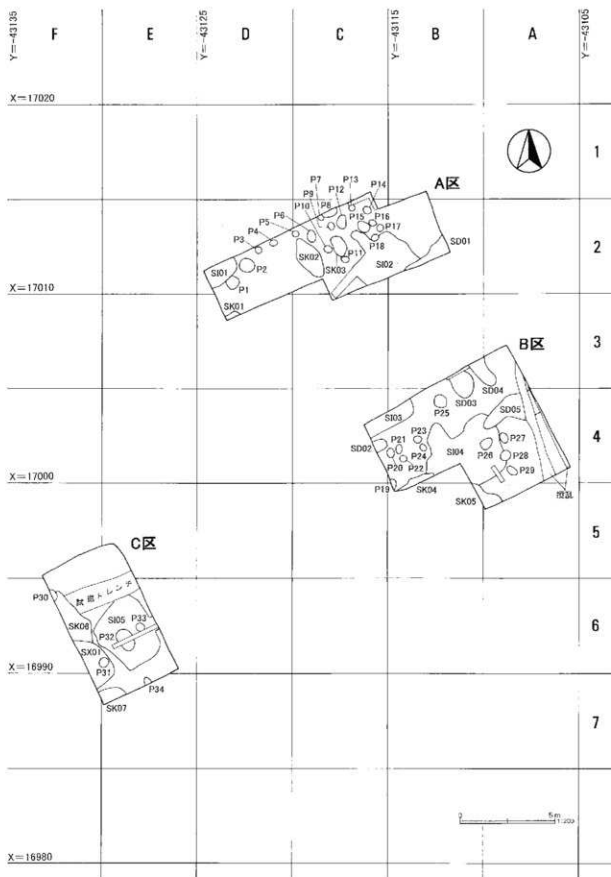
## 掲載遺跡一覧表

1 不二ノ腰遺跡	21 稲荷木上遺跡	41 庚申塚遺跡	61 東方城跡
2 寺東遺跡	22 下川原遺跡	42 松原遺跡	62 原遺跡
3 別府氏館跡	23 奈良氏館跡	43 社裏北遺跡	63 明戸東遺跡
4 別府城跡	24 天神下遺跡	44 社裏遺跡	64 新田裏遺跡
5 別府条里遺跡	25 土用ヶ谷戸遺跡	45 社裏南遺跡	65 新屋敷東遺跡
6 石田遺跡	26 一本木前遺跡	46 城下遺跡	66 本郷前東遺跡
7 関下遺跡	27 中耕地遺跡	47 高根遺跡	67 庁鼻和城跡
8 横間栗遺跡	28 西通遺跡	48 天神前遺跡	68 上敷免遺跡
9 根絡遺跡	29 東通遺跡	49 兵部裏屋敷跡	69 八日市遺跡
10 深町遺跡	30 横塚山古墳	50 御蔵場跡	70 八幡太郎館跡
11 入川遺跡	31 在家遺跡	51 弥藤吾新田遺跡	I 別府古墳群
12 西別府館跡	32 籠原裏遺跡	52 道ヶ谷戸遺跡	II 在家古墳群
13 西方遺跡	33 拾六間後遺跡	53 飯塚遺跡	III 籠原裏古墳群
14 西別府廃寺	34 東川端遺跡	54 飯塚南遺跡	IV 三ヶ尻古墳群
15 西別府祭祀遺跡	35 樋の上遺跡	55 清水上遺跡	V 広瀬古墳群
16 原遺跡	36 東遺跡	56 前遺跡	VI 石原古墳群
17 玉井陣屋跡	37 黒沢館跡	57 居上遺跡	VII 上増田古墳群
18 新ヶ谷戸遺跡	38 宮ヶ谷戸堀ノ内遺跡	58 城北遺跡	VIII 木の本古墳群
19 奈良東耕地遺跡	39 若松遺跡	59 柳町遺跡	
20 水押下遺跡	40 三ヶ尻遺跡	60 砂田遺跡	

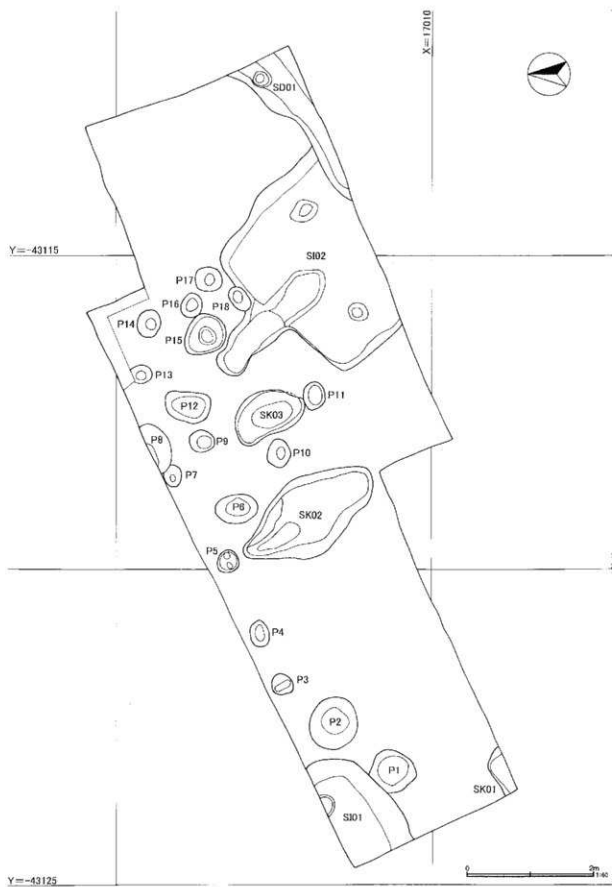


第2図 周辺遺跡分布図

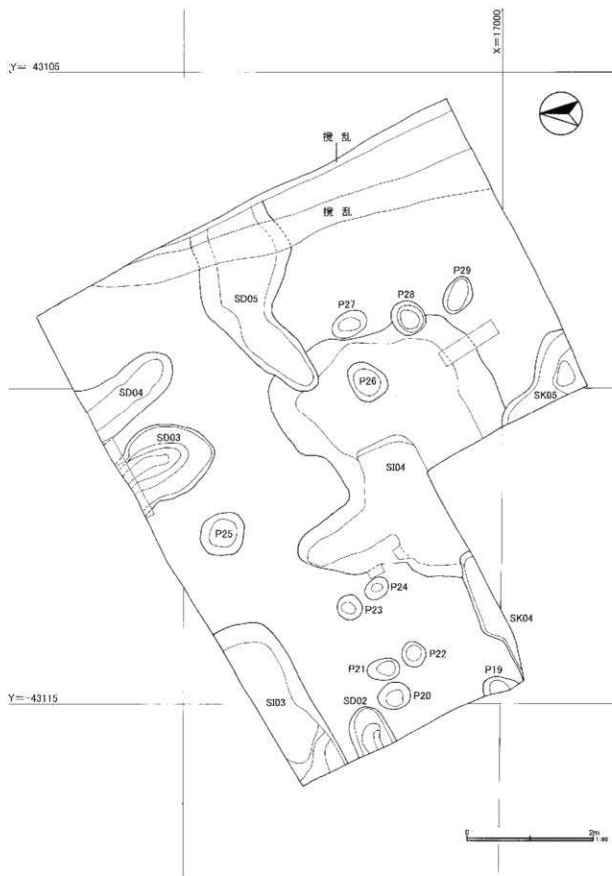




第4図 石原古墳群・不二ノ腰遺跡全測図

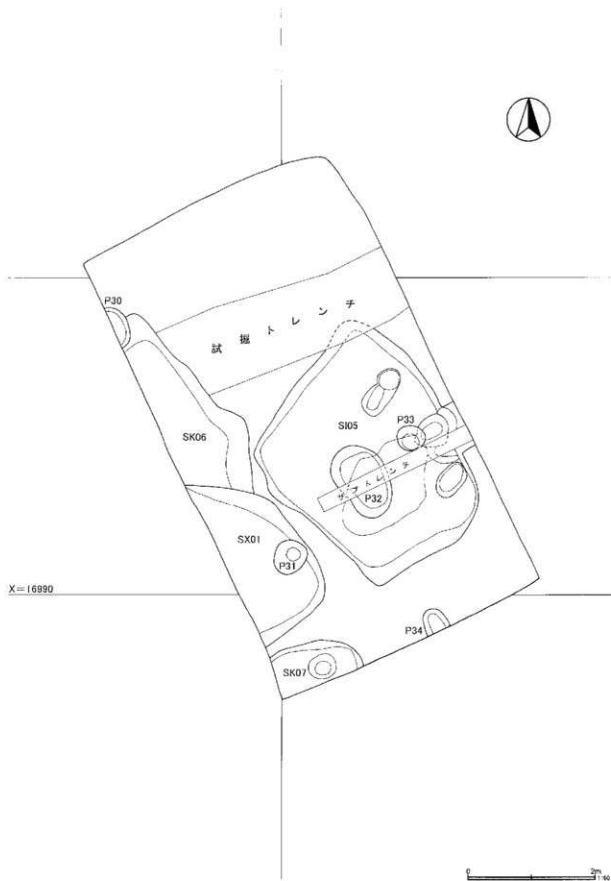


第5図 A区全体図



第 6 图 B 区全体图





第7図 C区全体図

### Ⅲ 遺跡の概要

#### 1 調査の方法

発掘調査の方法は、1辺5mのグリッド方式を用いて行い、調査区全体を網羅できる様に、北東隅をA-1として西へA・B・C・・・、南へ1・2・3・・・とし、Aラインは北から南へA-1・A-2・A-3・・・と呼称した。Bライン以西もAラインと同様に呼称し、グリッド設定を行った。

発掘調査は、重機による遺構確認面までの表土剥ぎを行った後、先述のグリッド設定を行った。なお、座標は世界測地系による国家方眼座標に基づく基準点測量による。調査区は分譲住宅建設予定地3か所をそれぞれ、南東の調査区をA区、北東の調査区をB区、南西の調査区をC区と設定した。表土剥ぎ後は、人力による遺構確認のための精査を実施し、確認された遺構は各々手掘りを行った。原則として遺物は必要に応じて写真撮影後、遺構ごと一括して慎重に取り上げた。遺構は写真撮影した後、実測を行った。そして、最後に遺構全体の写真撮影を行い、全測図の実測を行った。

#### 2 検出された遺構と遺物

本調査によって検出された遺構は、A区では南東隅に溝跡、中央および北西に住居跡が2軒あり、その他土坑3基、小規模なピット多数であった。B区では住居跡が2軒、北側には溝跡2条と、土坑2基、その他ピット群が検出された。C区では中央に住居跡、西側では規模が大きい土坑が検出されている。遺物の多くは各調査区それぞれ住居跡に集中しており、主に奈良～平安時代の土師器、須恵器等が多く、住居跡のうち1軒からは、鉄を精錬する際に利用する羽口、その際に飛び散る鉄滓が検出され、コンテナ3箱分の出土量であった。

### Ⅳ 遺構と遺物

#### 1 住居跡

住居跡は、各調査区で総じて5軒検出した。

まずA区からは2軒検出し、カマドがそのうち1軒から確認できた。次にB区でも2軒検出し、カマドはそのうち1軒から確認でき、さらにもう1軒からは羽口や鉄滓が検出された。C区ではカマドがある住居跡を1軒確認することができた。各調査区の多くの住居跡で確認されたカマドからは完形に近い甕などの遺物が検出できた。

以下住居跡ごとに詳細を記載する。

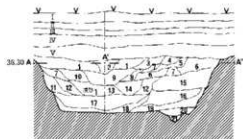
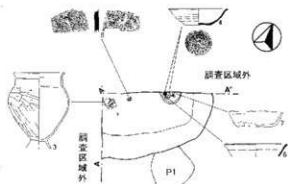
##### 第1号住居跡（第8図）

D-2グリッド（A区）から検出した。

他の遺構との重複関係はみられなかったが、大半が調査区域外であった。

正確な規模は不明であるが、検出長軸がおおよそ1.75m、短軸は1.05mを測り、主軸方向はほぼ真北を指すと思われる。確認面からの深さは調査区壁の土層断面から、0.92mであることが確認された。床面はほぼ平坦であるが他の住居跡と比べると、床面まで深く残りがよい。覆土は基本層で4～5層からなる。初めに東部から埋まり、そこからはレンズ堆積状に自然堆積で埋まったと推定される。

完形のものはいくらか出土しており、出土遺物で図示可能なものは土師器杯や須恵器杯、甕の計8点である。うち1点は台付甕で、さらに燈明皿として利用されただろう土師器杯の1点を確認できた。これらの遺物からこの住居跡の時期は、9世紀初頃と思われる。

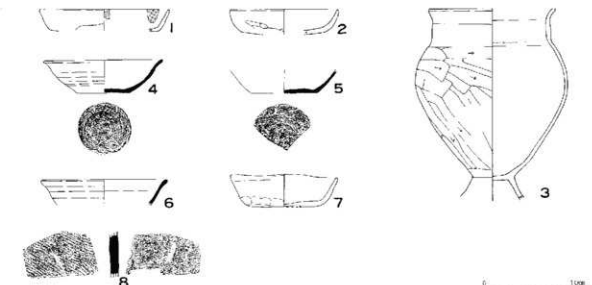


第1号住居跡 (A-A') (A面)

- 1 黒褐色土 10YR-5/1(少量)・黄褐色土 2.5Y-6/7 有、一部暗灰黄色土 2.5Y-6/2 有、  
磁器土 5Y-6/1(ブロック有)
- 2 黒褐色土 2.5Y-3/2(本器片、汚泥黄色土 2.5Y-4/7 有)
- 3 土褐色土 2.5Y-3/1(黄灰色土 2.5Y-4/1 少量有)
- 4 黄褐色土 2.5Y-3/2(暗灰黄色土 2.5Y-4/2 有)一部有
- 5 オリーブ灰色土 5Y-3/1(少量有、土器片有)
- 6 灰褐色土 2.5Y-4/2(黒褐色土 2.5Y-3/2 有少量有)
- 7 灰オリーブ色土 5Y-4/7(少量有、黄灰色土 2.5Y-4/1(ブロック有))
- 8 暗灰黄色土 2.5Y-4/7(灰色土 2Y-4/7、黄灰色土 2.5Y-4/1(ブロック有、土器片有))
- 9 灰褐色土 10YR-6/2(本器片有、変化物少量、黄褐色土 2.5Y-4/1(ブロック有))
- 10 灰オリーブ色土 5Y-4/2(灰黄褐色土 10YR-4/2 有、変化物有、  
黄褐色土 2.5Y-4/1(ブロック有、少量有))
- 11 オリーブ灰色土 5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1(ブロック有、一部砂質土化))

- 12 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、土褐色土 10YR-3/1(ブロック有、  
少量有、変化物有))
- 13 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2(灰黄褐色土 10YR-4/2 少量、  
黄灰色土 2.5Y-4/1(ブロック有)、変化物有)
- 14 暗灰黄色土 2.5Y-4/2(土器片、変化物有、黄褐色土 2.5Y-4/1(ブロック有))
- 15 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2(黄褐色土 2.5Y-4/1(ブロック有、土器片有、変化物有))
- 16 灰オリーブ色土 5Y-4/2(若干シルト質、黄褐色土 2.5Y-4/1(ブロック有、土器片有))
- 17 灰オリーブ色土 5Y-4/2(本器片、変化物有、砂質土)
- 18 灰オリーブ色土 5Y-4/2(変化物有、砂質土)
- 19 灰オリーブ色土 5Y-4/2(砂質土、土器片有)
- 20 灰オリーブ色土 5Y-4/2(砂質土、土器片有)
- 21 灰オリーブ色土 5Y-4/2(若干粘質土、20.2%無砂に砂6%)

第8図 第1号住居跡



第9図 第1号住居跡出土遺物

第1表 第1号住居跡出土遺物観察表 (第9図)

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器 杯	口径 (13.8) 残存高2.3	口縁部・内外面ヨコナデ	A、B、 I	橙5YR-6/8	普通	10%	灯明皿
2	土師器 杯	口径 (11.6) 残存高2.7		A、B、 D、I	橙5YR-6/8	不良	20%	
3	土師器 台付壺	口径 (13.2) 残存高20.2	口縁部・内外面ヨコナデ	I、M	橙5YR-6/8	普通	70%	
4	須恵器 杯	口径12.6 器高3.4	底部回転糸切、調整なし	A、B、 I、N	灰10YR-4/1	普通	90%	
5	須恵器 杯	口径一 残存高2.0	底部回転糸切、調整なし	A、B、 N	灰N-5/	普通	20%	
6	須恵器 杯	口径 (13.4) 残存高2.7		A、B、D、 I、N	灰7.5Y-5/	普通	口縁の20%	
7	須恵器 杯	口径11.4 器高3.4	指頭圧痕有	A、B、 I、J	明褐7.5YR-5/6	普通	80%	
8	須恵器 壺	—	外面平行印目 内面ナデ	A、B、 N	青灰5PB-6/1	良好		胴部破片

## 第2号住居跡 (第10図)

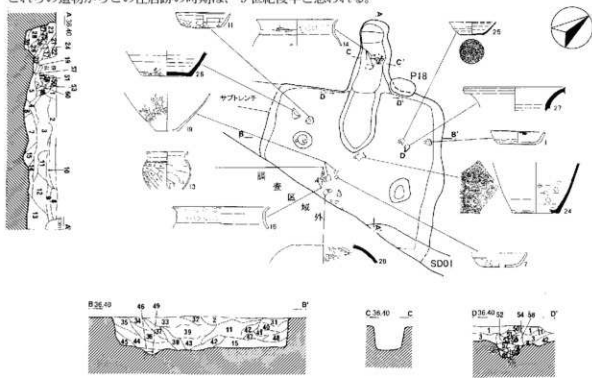
B-2、C-2グリッド (A区) から検出した。

他の遺構との重複関係があり第1号溝跡が住居跡の一部を掘り込んでいた。なお一部が調査区域外であった。

正確な規模は不明であるが、推定長軸がおよそ2.49m、短軸は2.85mを測り、主軸方向はカマドを通るものとしてN-50°-Wを指す。確認面からの深さは最大で0.54mであった。床面はほぼ平坦であり、カマド手前では窪みが確認された。覆土はカマド手前部分では底部付近で礫や砂質土が多く検出され、一部については過去の河川による氾濫土と思われる覆土を確認できた。カマド部分は煙道部と燃焼部が検出でき、粘土で構築された側面の一部が残存して、確認された。燃焼部からは、妻片が数点検出できた。また、ピットが2つ確認された。それらの間隔と覆土から柱穴跡と想定できる。

出土遺物で図示可能なものはカマドの住居跡全体からの計29点である。9世紀後半と思われる土師器杯が12点、同壺が8点分、そして須恵器杯や壺が8点であった。

これらの遺物からこの住居跡の時期は、9世紀後半と思われる。



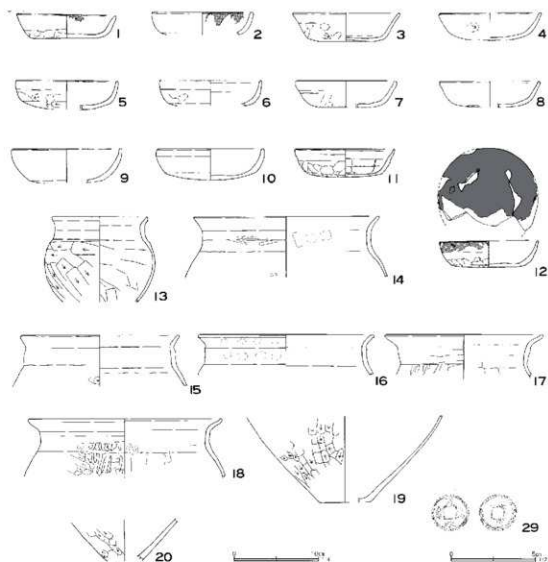
第2号住居跡 (A-A') (B-B') (D-D') (A区)

- 1 灰化礫土 10/9-4/2 (黄褐色土 2/3/4-1/1) プロック等
- 2 灰化礫土 10/9-4/2 (黄褐色土 2/3/4-1/1) プロック等
- 3 灰化礫土 2/3/4-4/2 (黄褐色土 2/3/4-4/2) プロック等、F<sub>40</sub>(少量)
- 4 灰化礫土 2/3/4-3/1 (黄褐色土 2/3/4-3/1) プロック等
- 5 灰化礫土 2/3/4-2/1 (黄褐色土 2/3/4-2/1) プロック等
- 6 灰化礫土 2/3/4-1/1 (黄褐色土 2/3/4-1/1) プロック等
- 7 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 8 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 9 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 10 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 11 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 12 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 13 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 14 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 15 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 16 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 17 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 18 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 19 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 20 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 21 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 22 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 23 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 24 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 25 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 26 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 27 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 28 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等
- 29 灰化礫土 2/3/4-0/1 (黄褐色土 2/3/4-0/1) プロック等

- 30 黄褐色土 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック及びF<sub>40</sub>(少量)
- 31 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 32 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 33 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 34 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 35 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 36 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 37 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 38 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 39 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 40 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 41 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 42 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 43 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 44 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 45 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 46 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 47 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 48 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 49 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 50 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 51 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 52 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 53 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 54 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 55 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 56 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 57 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 58 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 59 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 60 プロック等 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等
- 61 黄褐色土 2/3/4-3/4 (黄褐色土 2/3/4-3/4) プロック等

第10図 第2号住居跡

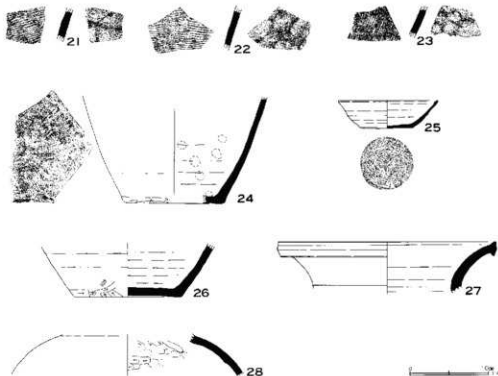
0 2m



第11図 第2号住居跡出土遺物(1) ※29のみ1/2スケールである

第2表 第2号住居跡出土遺物観察表(第11・12図)

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器 杯	口径11.7 器高3.0	口縁部内側スス付着	A、B、D G、I、K	橙7.5YR-6/6	普通	90%	灯明皿
2	土師器 杯	口径(12.0) 残存高2.7	口縁部内側スス付着	A、D、 I、K	にぶい赤褐5YR-5/4	普通		口縁の35%
3	土師器 杯	口径(12.6) 器高3.4	指頭圧痕有 内外面ヨコナデ	A、B、 I、K	橙5YR-6/8	普通	40%	
4	土師器 杯	口径(12.2) 器高3.2	指頭圧痕有	A、B、 I、K	橙5YR-6/6	普通	35%	
5	土師器 杯	口径(12.2) 器高3.4	内外面ヨコナデ	A、B、 E、I	明赤褐5YR-5/8	普通	30%	
6	土師器 杯	口径(12.2) 残存高3.1	内外面ヨコナデ	A、B、 I	橙7.5YR-6/8	普通	20%	
7	土師器 杯	口径(12.0) 器高2.9		A、B、 I	橙5YR-6/8	普通	30%	
8	土師器 杯	口径(12.0) 器高3.1		A、B、D I、K	にぶい赤褐5YR5/4	普通	20%	
9	土師器 杯	口径(13.0) 器高4.0	内外面ヨコナデ	B、D、G、I、 K	にぶい赤褐2.5YR5/4	普通	20%	
10	土師器 杯	口径(12.8) 器高3.7		B、D G、I、K	橙5YR-6/6	普通	30%	
11	土師器 杯	口径11.9 器高8.8 底径3.3	内外面ヨコナデ 底部ヘラケズリ	I、K、M	明赤褐5YR-5/6	普通		完形



第12図 第2号住居跡出土遺物(2)

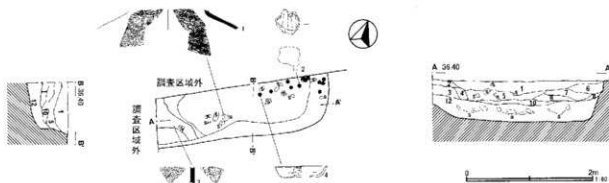
12	土師器 杯	口径11.6 器高3.1 残存高10.1	外面口縁部、内面に油煙 スス付着	I, M	橙5YR6/6	普通	60%	灯明皿
13	土師器 小型甕	口径(11.4) 残存高10.1	口縁部内外面ヨコナデ。 胴部内外面ヘラケズリ。	I, M	にぶい赤褐5YR-5/4	普通	口縁の40%	
14	土師器 甕	口径(22.0) 残存高7.0	胴部内面指頭圧痕有	A, B, D, E, G, I, k	外面：黒褐10YR-3/1 橙7.5YR6/6 内面：灰褐7.5YR-4/2	普通	口縁の40%	
15	土師器 甕	口径(18.8) 残存高7.0	住居内土坑 外面口縁部ヘラケズリ	A, B, D, E, G, I, k	にぶい橙2.5YR-6/4	普通	口縁の30%	
16	土師器 甕	口径(21.0) 残存高4.7	外面口縁部指頭圧痕有	A, B, D, E G, H, I, k	にぶい橙2.5YR-5/4	普通	口縁の30%	
17	土師器 甕	口径(18.8) 残存高5.1	外面タキ痕有 内面口縁部ヨコナデ 内面ヘラケズリ	A, B, D, E, I, K	橙5YR-6/6	普通	口縁の10%	
18	土師器 甕	口径(23.0) 残存高7.0	外面一部にヘラケズリ痕有 外面口縁部にタキ痕有 内面ヨコナデ有	A, B, D, E G, H, I, k, N	橙5YR-6/6	普通	口縁の15%	
19	土師器 甕	残存高10.3 残存底径6.0	外面ヘラケズリ痕有	A, B, E, I, K	外面：黒褐7.5YR-3/1 内面：明赤褐5YR-5/6	普通	胴部下半部 の50%	
20	土師器 甕	残存高2.7	底部のみ 外面ヨコナデ痕有	B, D, E, G, I	外面：明赤褐5YR-3/2 内面：にぶい橙5YR-6/4	普通	胴部下半部 の20%	
21	須恵器 甕	-	平行印目痕有	A, B, C, I	黄灰10YR-6/1	普通	破片	未野産?
22	須恵器 甕	-	平行印目痕有	A, B, J, N	黄灰10YR-6/1	普通	破片	未野産
23	須恵器 甕	-	平行印目痕有	A, B, C	青灰5PB-6/1	普通	破片	未野産?
24	須恵器 壺	残存高13.7 残存底径 13.0	底部ヘラケズリのみ 内外面ヨコナデ痕 底部陥ハケ目痕有	A, B, F, N	灰白N7/	良好	胴部下半部 の30%	未野産
25	須恵器 杯	口径12.6 器高3.5	底部回転糸切、調整なし	G, M	黄灰2.5Y-6/1	普通	90%	未野産
26	須恵器 甕	残存高6.9 底径13.6	底部ヘラケズリのみ 内外面ヨコナデ痕	A, B, H	青灰5PB-5/1	良好	底部の60%	未野産
27	須恵器 甕	口径28.0 残存高6.6	内外面ヨコナデ痕有	A, B, D, F, H, N	灰白7.5YR-8/1	普通	口縁の15%	未野産
28	土師器 甕	残存高5.3 頸部径17.2	外面ヨコナデ痕有 内面ヘラケズリ痕有	A, B, D, E F, H, N	外面：褐灰5YR-5/1 内面：にぶい赤褐5YR-5/3	普通	胴部下半部 の20%	未野産
29	古銭	径 2.5	寛永通宝	-	-	-	-	流込か?

### 第3号住居跡 (第13図)

B-4、C-4グリッド (B区) から検出した。

他の遺構との重複関係はなく、大半が調査区域外であった。

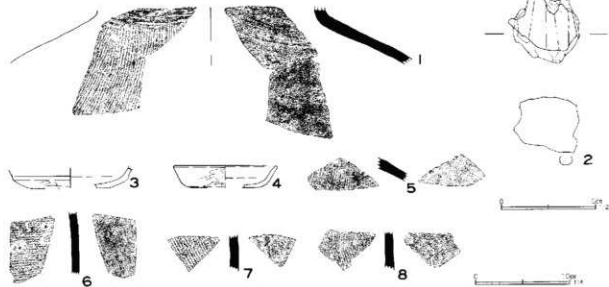
正確な規模は不明であるが、検出長軸がおよそ2.77m、短軸は0.87mを測り、主軸方向はほぼ真北を指すものと推定される。確認面からの深さは最大で0.65mであった。床面の確認は苦勞を強いられ、ほぼ平坦であるが多くの角礫や小ぶりの礫が床面に確認できた。覆土は東側から埋まっており、ほぼレンズ状に堆積していたことから自然堆積と想定されるが、一部については過去の河川による氾濫土と思われる覆土を確認できた。この住居跡の北東部からは羽口片および鉄滓 (図版参照) が一点出土した。これが流れ込み等でないならば、精錬所的な要素をもった建物跡として検討することもできる。出土遺物で図示可能なものは羽口、鉄滓以外には土師器片と須恵器裏片の7点のみである。これらの遺物からこの住居跡の時期は9世紀後半と思われる。



第3号住居跡(A-A') (B-B') (図 38)

- 1 黒褐色土 2.5V-3/1 (小礫多数、一部黒褐色土 2.5V-3/1 含)
- 2 オリーブ黒色土 2V-2/2 (粘土質、小礫多数、黄褐色土 2.5V-4/1 少量、FeO少量)
- 3 オリーブ黒色土 2.5V-2/2 (シルト質、小礫多数、黄褐色土 2.5V-4/1 少量、FeO少量)
- 4 オリーブ黒色土 2V-2/1 (小礫多数)
- 5 オリーブ黒色土 2V-2/2 (小礫多数、シルト質、黄褐色土 2.5V-4/1 ブロック及びFeO少量含、土器片含)
- 6 反オリーブ黒土 2V-4/2 (シルト質、黄褐色土、土器片含)
- 7 緑灰色土 2.5V-4/2 (シルト質)
- 8 オリーブ黒色土 2V-2/1 (小礫多数に含、少々粘質土)
- 9 オリーブ黒色土 2.5V-3/2 (粘質土、土器片含)
- 10 オリーブ黒色土 2V-3/2 (粘質土、小礫一部含、黄褐色土 2.5V-4/1 粘子、ブロック散在、FeO少量含)
- 11 黒褐色土 2.5V-3/2 (大礫多数含、少々粘質)
- 12 オリーブ黒色土 2.5V-3/1 (砂質土、大礫多数含)

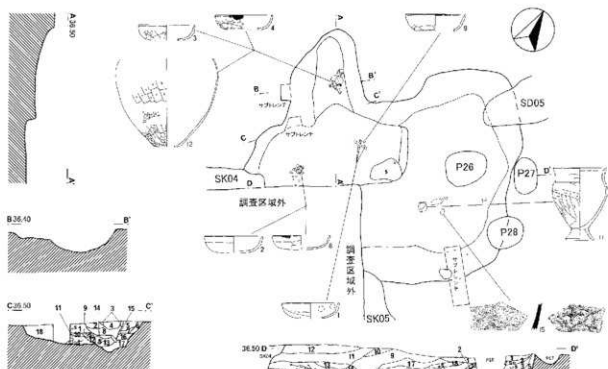
第13図 第3号住居跡



第14図 第3号住居跡出土遺物 ※2のみ1/2スケールである

第3表 第3号住居跡出土遺物観察表 (第14図)

番号	器種	量量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	須臾器 壺	-	外面平行印目。内面ナデ。	A、B、N	灰N-6/1	良好	-	末野産
2	羽口	最大長3.9 最大幅3.8 最大厚2.9	-	-	外面：橙7.5YR-7/6 内面：明赤褐5YR-5/8	-	-	破片のみ
3	土師器 杯	口径 (13.0) 残存高2.0	-	B、D、E、I、 K	にぶい赤褐2.5YR-4/4	普通	胴部の15%	-
4	土師器 杯	口径 (11.0) 残存高2.3	内面ナデ	A、B、D、 E、G、I、K	橙5YR-7/6	普通	口縁の15%	-
5	須臾器	-	外面平行印目有 内面ヨコナデ	A、B、D、 H	外面：灰白7.5YR-8/1 内面：灰白N-7/1	普通	破片	末野産
6	須臾器	-	外面一部自然釉薬有 外面平行印目	A、B、D、 H	外面：灰白7.5YR-7/1 内面：灰白N-7/1	普通	破片	末野産
7	須臾器	-	外面平行印目有 使用による外面摩耗あり	A、B、N	外面：灰白7.5YR-6/1 内面：灰白N-6/	普通	破片	末野産
8	須臾器 壺	-	外面平行印目有	A、B、N	灰白N-6/	良好	破片	-



第4号住居跡(0-0') (断面)

- 1 灰ナリ土色土 5Y 8/2 (黄灰色土 2.5Y 4/1 炭層に在)
- 2 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 炭層に入る。羽黒褐色土 10YR 6/6 土層)
- 3 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 4 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 5 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 6 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 7 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 8 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 9 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 10 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 11 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 12 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 13 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 14 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 15 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 16 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 17 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 18 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 19 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 20 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 21 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 22 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 23 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 24 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 25 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 26 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 27 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 28 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 29 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 30 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)

第4号住居跡(0-0') (断面)

- 1 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 2 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 3 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 4 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 5 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 6 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 7 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 8 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 9 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 10 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 11 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 12 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 13 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 14 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 15 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 16 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 17 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 18 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 19 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 20 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 21 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 22 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 23 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 24 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 25 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 26 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 27 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 28 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 29 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)
- 30 土師器土 2.5Y 4/1 (黄灰色土 2.5Y 4/1 ブロック、及び FeO 少量)

第15図 第4号住居跡

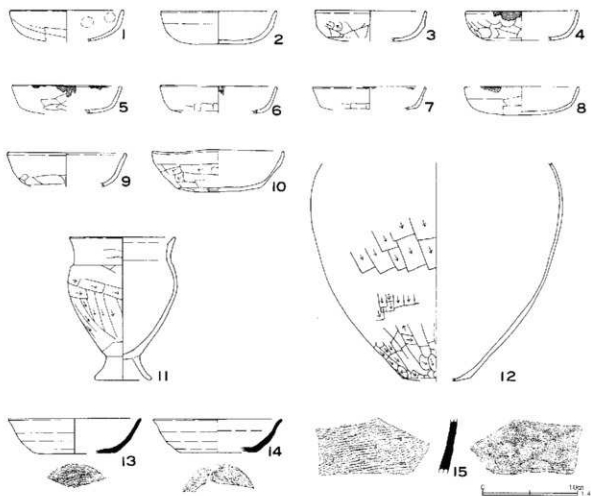


#### 第4号住居跡（第15図）

A-4、B-4グリッド（B区）から検出した。他の遺構との重複関係があり、第26～28号ピット及び第5号溝跡が第4号住居跡を掘り込んでいた。なお一部が調査区域外であった。

正確な規模は不明であるが、長軸がおよそ4.30m、短軸は2.80mを測り、主軸方向はカマドを通るものとしてN-24.7°-Wを指す。確認面からの深さは最大で0.74mであり、床面はほぼ平坦であるが若干、西に向かって傾斜が確認でき、カマド手前ではゆるやかな落ち込みがみられた。底部付近の覆土については粘質ではなく、砂質であり、一部については第3号住居跡と同様に過去の河川による氾濫土と思われる覆土を確認できた。カマド部分は煙道部と燃焼部が検出でき、粘土で構築された側面の多くが残存していた。燃焼部からは、裏片が数点検出できた。またカマドの南では岩といえるほどの礫（50cm）を検出したが、平坦ではなく、用途不明である。

出土遺物で図示可能なものは土師器裏片や杯片、須恵器杯片、裏片の計15点である。これらの遺物からこの住居跡の時期は、9世紀前半と思われる。



第16図 4号住居跡出土遺物

第4表 第4号住居跡出土遺物観察表(第16図)

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器 杯	口径 (12.0) 残存高3.3	内面指頭圧痕有	A、B、 C、I	橙5YR-6/8	普通	50%	
2	土師器 杯	口径 (12.3) 器高3.5		A、B、C、G、 I、J	橙7.5YR-6/6	普通	30%	
3	土師器 杯	口径 (11.8) 器高3.3	内外面に指頭圧痕有	A、B、D、I、 K	橙5YR-6/6	普通	40%	
4	土師器 杯	口径 (11.8) 器高3.1	外面スス付着	A、B、D、I、 K	橙5YR-6/8	普通	45%	燈明皿か?
5	土師器 杯	口径 (12.8) 器高2.9	内外面すす付着 特に内面に油煙付着	A、B、D、I、 J	橙5YR-6/8	普通	20%	燈明皿
6	土師器 杯	口径 (12.5) 残存高2.9	内面すす付着	A、C、D、 I、K	橙5YR-6/8	普通	20%	
7	土師器 杯	口径 (12.0) 器高2.4	内面すす付着	A、C、I、J、 K	浅黄橙7.5YR-6/8	普通	10%	
8	土師器 杯	口径 (12.2) 器高3.0		A、C、I、J	橙5YR-6/8	普通	60%	
9	土師器 杯	口径 (12.3) 残存高3.6	内面に指頭圧痕有	A、B、D、I、 K	明赤褐5YR-5/6	普通	40%	
10	土師器 杯	口径 (13.7) 器高4.4	外面内面ヨコナデ 外面ヘラケズリ有	A、B、I、J、 M	にぶい橙7.5YR-6/4	普通	50%	
11	土師器 台付甕	口径 (11.3) 器高15.0 底径 (5.8)	内外面ヨコナデ 胴部ヘラケズリ 台部ヨコナデ	A、B、I、J、 M	にぶい橙7.5YR-7/4	普通	40%	
12	土師器 甕	口径 (—) 残存高22.8 底径 (7.2)	底部ケズリ有	A、B、D、E、 I、J、K	橙5YR-6/6	普通	35%	
13	須恵器 杯	口径 (13.8) 器高3.7		A、B、I、M	灰5Y-6/1	普通	30%	末野産
14	須恵器 杯	口径 (13.4) 器高3.5		A、B、I、M	灰白7.5Y-7/1	普通	40%	末野産
15	須恵器 甕	—	外面平行印目有	A、B、M、N	灰白N-7/	普通	破片	末野産

## 第5号住居跡(第17図)

E-6、F-6グリッド(C区)から検出した。

他の遺構との重複関係があり、第32、33号ピットが住居跡を掘り込んでいた。なおカマドの煙道部が調査区域外であった。

長軸がおよそ3.54m、短軸は2.91mを測り、すでに検出された他の住居跡と比較すると、規模が小さい。主軸方向はカマドを通るものとしてN-43°-Eを指す。確認面からの深さは最大で0.86mであった。床面はほぼ平坦であり、想定される住居跡中央に大きな落ち込み、カマド手前の左右にピット状の落ち込みを確認し、カマド手前ではいくらか凹凸がみられた。カマド部分は燃焼部が検出でき、粘土で構築されたカマドのそでの一部が残存して、確認された。燃焼部からは、甕片が数点検出でき、ほぼすべて一箇体が復元できた。

また、カマドに対して右手のピット状のものは甕片が多数検出されたことから、貯蔵穴と想定される。

出土遺物で図示可能なものは31点にも及び土師器甕が多数と刀子と思われる鉄製品が検出されたことが特徴である。これらの遺物から本住居跡の時期は、9世紀後半と思われる。

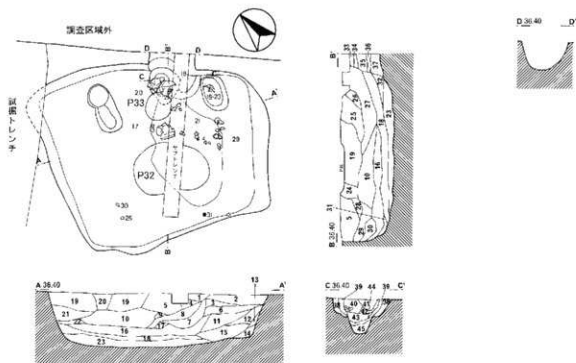
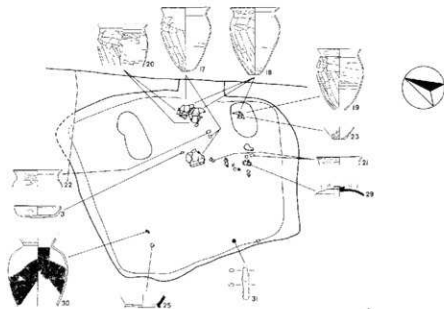


図3 居住施設(A-A' B-B' C-C') (C区)

- 1 漆褐色土 2.0V-0.1 (土器片, 漆器-磁化物)
- 2 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (少年期居住土 2.0V-4/1 プロック層, L埋り層)
- 3 Lの下の砂土
- 4 黒炭褐色土 2.0V-5/2 (黒炭褐色土 2.0V-4/1 プロック, FのD層)
- 5 黒炭褐色土 2.0V-5/2 (少年期土), 土器片, 炭化物, 土器片, 土器片
- 6 灰アーループ土 2.0V-5/4 (黒炭褐色土 2.0V-4/1 プロック層, 9.5-9.8層間に土器片, 炭化物)
- 7 黒炭褐色土 2.0V-6/2 (土器片層, 部分別: 黒褐色土 2.0V-5/3 粘土片, 一部砂土)
- 8 土器片層
- 9 黒褐色土 2.0V-2/1 (灰土, 炭化物, 土器片)
- 10 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (土器片, 炭化物) 2.0V-4/1 プロック層)
- 11 灰アーループ土 2.0V-5/2 (少年期土, 炭化物)
- 12 灰アーループ土 2.0V-4/3 (黒炭褐色土 2.0V-4/1 プロック層)
- 13 灰アーループ土 2.0V-4/2 (砂土)
- 14 灰アーループ土 2.0V-5/2 (砂土)
- 15 灰アーループ土 2.0V-4/3 (砂土)
- 16 灰アーループ土 2.0V-4/3 (砂土)
- 17 灰褐色土 2.0V-4/3 (砂土)
- 18 灰褐色土 2.0V-4/3 (砂土)
- 19 灰褐色土 2.0V-4/3 (砂土)
- 20 黒炭褐色土 2.0V-4/1 (土器片層)
- 21 灰アーループ土 2.0V-5/2 (少年期土, 炭化物) 2.0V-4/1 プロック層)
- 22 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (少年期土, 炭化物) 2.0V-4/1 プロック層)
- 23 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)

- 24 黒炭褐色土 2.0V-5/2 (土器片, 炭化物, 黒褐色土 2.0V-4/1 プロック層, 一部砂土)
- 25 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (土器片, 炭化物, 少年期土)
- 26 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (黒炭褐色土 2.0V-4/1 プロック, 少年期土)
- 27 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (少年期土, 炭化物, 土器片, 土器片, 炭化物)
- 28 黒炭褐色土 2.0V-5/2 (少年期土, 炭化物, 土器片)
- 29 灰アーループ土 2.0V-4/3 (炭化物, 土器片, 一部砂土, Lの下の砂土)
- 30 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (黒炭褐色土 2.0V-4/1 プロック層)
- 31 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 32 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 33 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 34 灰アーループ土 2.0V-4/2 (砂土)
- 35 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 36 灰アーループ土 2.0V-4/2 (砂土)
- 37 灰アーループ土 2.0V-4/2 (砂土)
- 38 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 39 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 40 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 41 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 42 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 43 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 44 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 45 黒炭褐色土 2.0V-4/2 (砂土)
- 46 灰アーループ土 2.0V-4/2 (砂土)

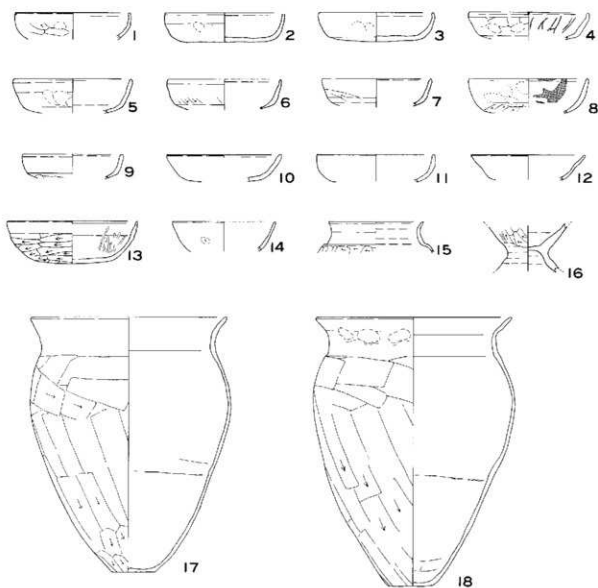


第17図 第5号住居跡

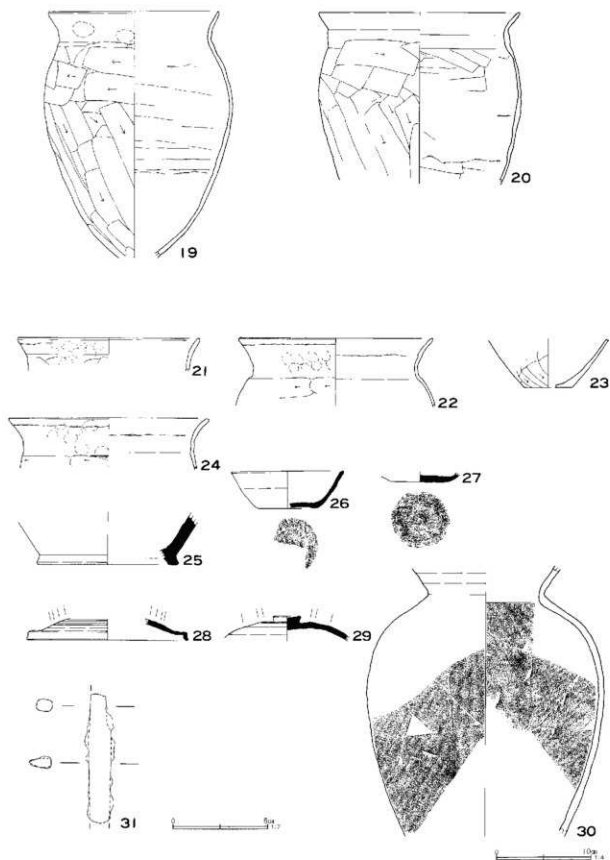
第5表 第5号住居跡出土遺物観察表 (第18・19図)

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器 杯	口径 (12.2) 残存高2.8		A, G, I, K, N	明赤褐5YR-5/6	普通	20%	
2	土師器 杯	口径 (12.6) 器高3.1	外面指頭圧痕有 底部ヘラケズリ痕	A, C, D, E, H, I, J, M, N	橙5YR-6/6	普通	50%	
3	土師器 杯	口径 (12.3) 器高3.1		A, B, D, E, H, I, J, M, N	橙5YR-6/6	普通	40%	
4	土師器 杯	口径 (12.8) 残存高2.8	内面放射線状に暗文有	A, B, E, K, M, O	橙5YR-6/6	良好	20%	
5	土師器 杯	口径 (13.0) 残存高3.6		A, B, H, I, K, M	にぶい橙5YR-6/4	普通	30%	
6	土師器 杯	口径 (12.0) 残存高3.2		A, B, D, I, K, M	橙5YR-6/6	普通	20%	
7	土師器 杯	口径 (11.6) 残存高2.8	外面粘土結積上痕有	A, B, D, H, K, M, O	明赤褐5YR-5/6	普通	20%	
8	土師器 杯	口径 (12.6) 残存高3.6	口縁、内面にス有	A, B, D, F, G, H, K, M	明赤褐5YR-5/6	普通	20%	灯明皿か?
9	土師器 杯	口径 (10.8) 残存高2.6		A, B, D, I, K, M	橙2.5YR-6/6	普通	15%	
10	土師器 杯	口径 (12.2) 残存高2.8		A, B, H, J, K, M	にぶい赤褐5YR-5/4	普通	20%	
11	土師器 杯	口径 (12.6) 残存高2.9		A, B, C, K	橙5YR-6/8	普通	20%	
12	土師器 杯	口径 (12.0) 残存高2.6		A, D, K	明赤褐5YR-5/6	普通	10%	
13	土師器 杯	口径 (13.8) 器高4.5	内外面ヨコナデ 外面ヘラケズリ、内面暗文有	A, B, I, J, K, M	橙5YR-6/6	普通	50%	
14	土師器 杯	口径 (10.9) 残存高3.1		E, N	橙5YR-6/8	普通	20%	
15	土師器 台付壺	口径10.0 残存高3.1	口縁部「コ」の字状 外面口縁部ナデ、胴部ヘラケズリ	A, B, E, I, K	外面：明赤褐5YR-3/2 内面：橙2.5YR-6/8	普通		口縁の45%
16	土師器 台付壺	口径 (一) 残存高5.1	外面ヘラケズリ、ヨコナデ	A, B, E, I, K	明赤褐2.5YR-5/6	良好		台部のみ
17	土師器 壺	口径20.4 器高27.1 底径4.4	内外面口縁部ヨコナデ 外面胴部ヘラケズリ 内面胴部ヨコナデ	A, B, H, I, J, K, M	にぶい橙7.5YR-6/4	普通	90%	
18	土師器 壺	口径20.4 器高28.3 底径4.8	内外面口縁部ヨコナデ 外面胴部ヘラケズリ 内面胴部ナデ 外面口縁指頭 圧痕有	A, B, H, I, J, K, M, N	にぶい橙7.5YR-6/4	普通	90%	
19	土師器 壺	口径 (18.0) 器高25.9	内外面ヨコナデ 外面胴部ヘラケズリ痕 内面胴部一部ミガキ痕有	A, B, H, I, J, K, M, N	明赤褐5YR-5/6	普通	30%	
20	土師器 壺	口径 (20.3) 残存高18.2	内外面口縁部ヨコナデ 外面胴部ヘラケズリ 内面胴部ヨコナデ	A, B, D, I, K	橙5YR-6/6	普通	40%	
21	土師器 壺	口径 (19.3)	外面粘土結積上痕有 外面指頭圧痕有	A, B, C, D, E, I, M, N, O	橙5YR-6/6	普通		口縁部の 20%
22	土師器 壺	口径 (20.6) 残存高7.2	口縁部粘土結積上痕有 外面指頭圧痕有 口縁部「コ」の字状	A, E, G, I, K, N	橙2.5YR-6/8	普通		口縁部の 40%
23	土師器 壺	口径 (12.6) 残存高3.6 残存底径5.0	外面ケラケズリ	A, B, C, D, G, H, N	橙7.5YR-5/6	普通		底部の50%
24	土師器 壺	口径 (21.3) 残存高5.4	口縁部やや「コ」の字状 粘土結積上痕有 外面指頭圧痕有	A, B, E, I, K	橙5YR-6/6	普通		口縁部の 25%
25	須恵器 壺	口径一 残存高5.6 底径15.0	内外面ヨコナデ痕	A, B, E, L, M, N	外面：灰-4/ 内面：青灰5PB-6/1	普通		底部の10% 未野産
26	須恵器 杯	口径 (12.0) 残存高3.9 底径(6.2)	底部回転糸切痕有 周辺ヘラケズリ 外面ヨコナデ痕	A, L	明褐灰7.5YR-7/2	普通	45%	未野産
27	須恵器 杯	器高 (1.1) 底径 (6.2)	底部回転糸切痕有 周辺ヘラ ケズリ 内外面ナデ痕	A, F, L	灰白10YR-7/1	良好		底部ほぼ 100% 未野産

28	須恵器 蓋	口径17.2 残存高2.2	外面頂コナデ痕	A、L	にぶい黄橙10YR-7/2	良好	30%	末野産
29	須恵器 壺	残存 (12.6)	外面頂ヘラケズリ痕 周辺ヨコナデ痕	A、K、L	灰白10YR-7/1	良好	30%	末野産
30	須恵器 壺	残存高28.7	内面胴部あて具痕 ロク口形成 自然釉少々有 外面平行印き有	G、H、M	灰白5YR-7/1	普通	70%	末野産
31	刀子?	最大長6.9 最大幅1.5 重量13.7					一部欠損	断面一方 が鋭角



第18図 第5号住居跡出土遺物(1)



第19図 第5号住居跡出土遺物(2) ※31のみ1/2スケールである

## 2 溝跡

溝跡は、総じて5条検出した。A区からは第1号溝跡が、調査区の南東で検出された。B区からは第2号溝跡が、調査区西側にその一部のみ検出できた。第3号溝跡は調査区北から南に向かって検出された。第4号溝跡は第3号溝跡に平行して、その西に検出できた。第5号溝跡が調査区中央から東にかけて検出された。さらにいずれも他の遺構との間に重複関係は確認できなかった。以下溝跡ごとに詳細を記載する。

### 第1号溝跡 (第21図)

B-2グリッドから検出した。第2号住居跡と重複関係にあり、第2号住居跡を掘り込み形で検出された。大半は調査区域外であった。

規模は、全長7.88m、最大幅1.54~2.36m、深さは0.45~0.50mであった。本溝跡は、東西方向に延びており、東壁面にピット状のくぼみがあり、橋脚の跡としても想定できる。この溝跡は、土層断面から、2段階の落ち込みであることが分かった。出土遺物は検出されなかった。

### 第2号溝跡 (第21図)

C-4グリッドから検出した。大半は調査区域外であるが、溝の終点が確認できた。

規模は、検出長2.30m、幅0.22~0.25m、深さは0.18~0.20mであった。東西に伸びていることが想定できる。また、土層断面から見ると溝の中ごろから底部に到っては、幅が狭く、2cm~5cm程度の小礫が確認できた。

出土遺物は土師器甕片が数点検出されたが図示可能な遺物ではなかった。なお、時期は9世紀代と考えられる。

### 第3号溝跡 (第21図)

A、B-3・4グリッドから検出した。規模は、全長2.30m、幅0.62~0.90m、深さは0.34~0.36mであった。南北に真っ直ぐ走り、第1号溝跡と接続していた。また、本溝跡は第1号溝跡に向かってなだらかな傾斜がある。

出土遺物は一部図示可能な土師器杯片、甕片及び須恵器甕片が数点出土したが、それ以外は図示可能な遺物ではなかった。時期は9世紀末~10世紀初めごろと推定される。

### 第4号溝跡 (第21図)

B-1・2、C-1グリッドから検出した。

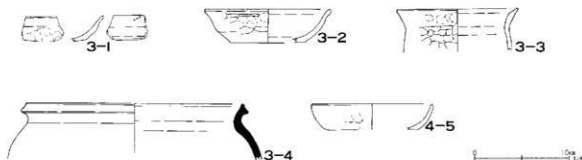
規模は、検出長5.20m、幅0.20~0.65m、深さは0.12~0.29mであった。北半分が調査区域外にあり全体が不明であるが、ほぼ東西方向に伸びていた。溝跡の覆土は、第1号溝跡などとは異なり、暗灰褐色土や灰黄褐色土が含まれており、地山に近づくにつれ砂混じりであった。

一部図示可能な土師器杯片1点出土したが、それ以外は図示可能な遺物ではなかった。

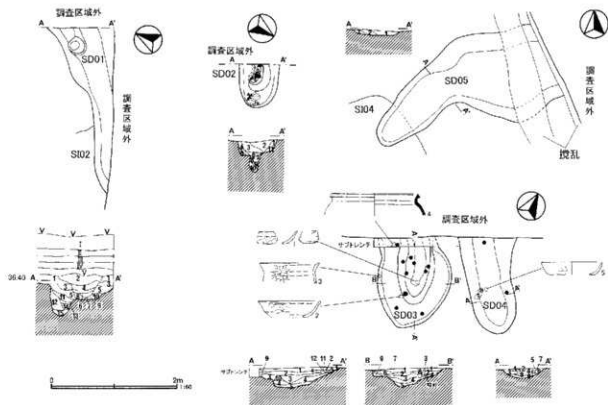
### 第5号溝跡 (第21図)

A-4グリッドから検出した。第4号住居跡と重複関係にあり、第4号住居跡を切っていた。

規模は、検出長5.20m、幅0.20~0.65m、深さは0.12~0.29mであった。一部のみを検出であるため全体が不明であるが、ほぼ東西方向に伸びていた。出土遺物は検出されなかった。



第20図 第3号・第4号溝跡出土遺物



第1号溝跡(A-A') (A区)

- 1 黒褐色土 10YR-2/1 (褐色土 10YR-4/1 少量)
- 2 黄褐色土 10YR-4/1 (黒褐色土 2.5Y-4/1, FeO多量) (黄)
- 3 黄褐色土 2.5Y-3/1 (褐色土 2.5Y-4/1, FeO少量) (黄)
- 4 赤褐色土 2.5Y-4/2 (少量) (赤褐色土 2.5Y-4/1 少量)
- 5 暗褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1, FeO多量)
- 6 黄褐色土 2.5Y-4/1 (FeO少量)
- 7 黄褐色土 2.5Y-3/2 (少量) (赤褐色土 2.5Y-4/1, FeO多量)
- 8 黄褐色土 2.5Y-3/2 (少量) (赤褐色土 2.5Y-4/1, FeO少量)
- 9 黄褐色土 2.5Y-3/2 (少量) (赤褐色土 2.5Y-4/1, FeO少量)
- 10 暗褐色土 2.5Y-4/2 (少量) (赤褐色土)
- 11 オリーブ褐色土 10Y-3/1 (黄褐色土, 赤褐色土)
- 12 オリーブ褐色土 10Y-3/2 (黄褐色土, 赤褐色土)
- 13 オリーブ褐色土 10Y-3/1 (黄褐色土)
- 14 黒オリーブ褐色土 10Y-4/2
- 15 黒オリーブ褐色土 10Y-4/2 (少量) (赤褐色土)

第2号溝跡(A-A') (B区)

- 1 黄褐色土 2.5Y-5/2
- 2 黄褐色土 2.5Y-3/2 (少量) (黄)
- 3 赤褐色土 2.5Y-4/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1, FeO少量)
- 4 暗褐色土 2.5Y-3/2 (少量) (赤褐色土 2.5Y-4/1) (黄褐色土)
- 5 暗褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-3/1) (黄褐色土)
- 6 暗褐色土 2.5Y-3/2 (少量) (赤褐色土 2.5Y-4/1) (黄褐色土)
- 7 オリーブ褐色土 10Y-3/1 (黄褐色土, 赤褐色土)
- 8 オリーブ褐色土 10Y-3/1 (黄褐色土)
- 9 黄褐色土 2.5Y-3/1 (少量) (赤褐色土, FeO少量)
- 10 黄褐色土 2.5Y-2/2 (赤褐色土)
- 11 黄褐色土 2.5Y-3/2 (少量) (赤褐色土)

第3号溝跡(A-A') (B区) (B区)

- 1 オリーブ褐色土 10Y-3/1 (黄褐色土 2.5Y-4/2) (黒褐色土)
- 2 黄褐色土 2.5Y-4/1 (FeO多量) (黄)
- 3 黄褐色土 2.5Y-4/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1) (黄, FeO多量) (赤褐色土)
- 4 黄褐色土 10Y-4/2 (黄褐色土 10Y-3/1) (黄, 工物片, 少量) (赤褐色土)
- 5 黄褐色土 10Y-3/2 (少量)
- 6 暗褐色土 2.5Y-4/2 (少量) (赤褐色土)
- 7 暗褐色土 10Y-4/1
- 8 オリーブ褐色土 10Y-3/1 (黄褐色土 10Y-4/1) (黄)
- 9 黄褐色土 2.5Y-4/1 (黄褐色土 10Y-3/1) (少量) (黄褐色土)
- 10 オリーブ褐色土 2.5Y-4/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1) (黄)
- 11 黄褐色土 10Y-3/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1) (少量) (赤褐色土)
- 12 黄褐色土 10Y-3/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1) (少量) (赤褐色土)
- 13 黄褐色土 10Y-3/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1) (少量) (赤褐色土)

第4号溝跡(A-A') (B区)

- 1 暗褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 FeO多量)
- 2 オリーブ褐色土 2.5Y-4/1 (少量) (黄褐色土 2.5Y-3/2) (黄, FeO少量)
- 3 黄褐色土 2.5Y-3/2 (少量) (黄褐色土 2.5Y-4/1) (黄褐色土)
- 4 オリーブ褐色土 2.5Y-4/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1) (少量) (黄褐色土)
- 5 黄褐色土 2.5Y-3/1 (少量) (黄褐色土 2.5Y-4/1) (少量)
- 6 黄褐色土 2.5Y-3/1 (少量) (黄褐色土 2.5Y-4/1) (少量)
- 7 黄褐色土 2.5Y-3/1 (少量) (黄褐色土 2.5Y-4/1) (少量)
- 8 黄褐色土 2.5Y-3/1 (少量) (黄褐色土 2.5Y-4/1) (少量)
- 9 黄褐色土 2.5Y-4/2 (少量) (黄褐色土)

第5号溝跡(A-A') (B区)

- 1 オリーブ褐色土 10Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1, FeO多量)
- 2 暗褐色土 2.5Y-4/2
- 3 暗褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1) (少量)

第21図 第1号～5号溝跡

第6表 第3号・4号溝跡出土遺物観察表 (第21図)

番号	遺構	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	SD3	土師器 杯	—	口縁内面にスス付着	A, B, D, E, G, I, K	橙5YR-6/6	普通	10%	
2	SD3	土師器 杯	口径 (13.4) 器高3.5	底部ヘラケズリ痕	A, D, E, F, M	橙7.5YR-7/6	普通	30%	
3	SD3	土師器 嬰	口径12.8 残存高4.5		A, B, E, I, K, M, O	橙5YR-6/6	普通	口縁の20%	
4	SD3	須臾器 嬰	口径23.0 残存高6.1	内外面ヨコナデ痕	A, D	灰N-5/—	普通	口縁の10%	
5	SD4	土師器 杯	口径 (12.9) 残存高 (2.7)		A, B, I, K	橙5YR-6/8	普通	口縁の20%	



### 3 土坑

土坑は、総じて5基検出した。土坑は規模の大きなものもあれば、調査区域外に接しており、一部のみしか確認できないものもあった。平面プランについては、方形または楕円形を呈するものが多く、深さは、一部を除けば、遺構確認面から概ね0.40～0.60mに収まり、0.50m前後が主体をなす。

出土遺物は、全体的に少なく、3基のみからの出土のみであった。時期については、その多くが概ね平安時代（9世紀代）に該当する。以下各土坑ごとに詳細を記載する。

#### 第1号土坑（第22図）

D-3グリッドから検出した。

大半は調査区域外であるが平面プランは長方形を呈すると推定され、規模は検出長軸0.55m、検出短軸0.35m、深さ0.41mであった。底部付近の土層にいたっては、締まりも弱くなり、砂質土となってくる。一部調査区域外まで広がっているため全容は不明である。出土遺物は検出されなかった。

#### 第2号土坑（第22図、第7表）

B-3グリッドから検出した。第7号土坑と重複関係にあり、第7号土坑に切られていた。

平面プランは楕円形で、規模は検出長軸0.40m、検出短軸0.35m、深さ0.10mであった。この土坑底部の中央部分からは酸化鉄などの鉄分が確認されていることから、水に関係する要素のあるものだろうか。

出土遺物は一部図示可能な土師器杯が一点出土したが、それ以外は図示可能な遺物ではなかった。時期は9世紀代と推定される。

#### 第3号土坑（第22図）

C-2グリッドから検出した。平面プランは楕円形で、規模は検出長軸0.95m、短軸0.75m、深さ0.16mであった。立ち上がりはなだらかで、底部はビット状にさらに落ち込む。土層の堆積状況から南から徐々に堆積していったことがわかる。図示可能な出土遺物は検出されなかった。

#### 第4号土坑（第22図）

B-4、5グリッドから検出した。第4号住居跡と重複関係にあり、第4号住居跡を切っていた。

平面プランは大半が調査区域外であるが、いびつな長方形と推定され、規模は長軸2.74m、短軸0.79m、深さ0.14mであった。落ち込みは鋭角であり、覆土の全体に礫を含んでいたが、底部付近ではかなり多量に確認できた。また、本土坑の中間部にはビット状にくぼみを確認することができた。

出土遺物は検出されなかった。

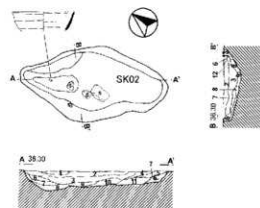
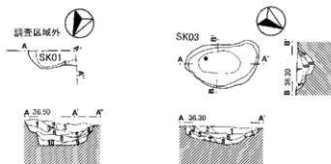
#### 第5号土坑（第22図）

A-5、B-5グリッドから検出した。第4号住居跡と重複関係にあり、第4号住居跡を一部切っていた。平面プランはほぼいびつな長方形と推定され、規模は長軸1.42m、検出短軸1.08m、深さ0.14mであった。落ち込みについては北からのそれが鋭角であった。底部からは10cm大の礫が多く出土し、覆土中からも何点か確認できた。また、全体的に酸化鉄などの鉄分も覆土中で確認されている。なお、最底部の土層からは焼土痕は確認されなかったが、帯状の炭化物を確認することができた。

出土遺物は検出されなかった。

#### 第6号土坑（第23図、第7表）

F-6グリッドから検出した。性格不明遺構（SX01）と重複関係にあり、正確不明遺構（SX01）に切られていた。



#### ■ 第1号土坑(A-A') (A-B)

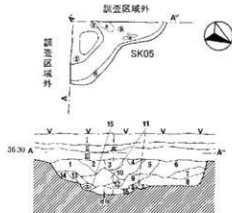
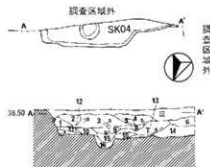
- 1 褐色黄土 2.5Y-4/7 (少量) (中程度)
- 2 灰黄色土 2.5Y-4/2 (微細砂質, 片リブ褐色土 2.5Y-4/3 粘り少量有)
- 3 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (灰白色少量有, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量)
- 4 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (微細) (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)
- 5 灰オリーブ色土 2.5Y-4/2 (灰白色土 2.5Y-4/1 プロック, 及び Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量, 粘り弱)
- 6 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部灰白色土 2.5Y-4/1 粘り, 粘り強)
- 7 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量に著し, 粘り強) (粘り強)
- 8 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (粘り強)
- 9 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (粘り強)

#### ■ 第2号土坑(A-A') (B-B') (A-B)

- 1 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (粘り強, 灰白色少量)
- 2 黄褐色土 2.5Y-4/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量有, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量有)
- 3 オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量有, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量有)
- 4 粘り強黄土 2.5Y-4/2 (粘り強)
- 5 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (粘り強, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量有)
- 6 オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (粘り強, 黄灰色土 2.5Y-4/1 一部粘り)
- 7 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (粘り強, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量有, 黄灰色土)
- 8 黄褐色土 2.5Y-4/2 (一部黄灰色土 2.5Y-4/1 粘)
- 9 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量, 黄灰色土 2.5Y-4/1 粘)
- 10 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 少量)
- 11 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック及び粘り多量に著し, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量)
- 12 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部黄褐色土 2.5Y-5/2 及び黄灰色土 2.5Y-4/1 粘り)
- 13 黄褐色土 2.5Y-3/2 (一部暗灰黄色土 2.5Y-4/1 粘り)

#### ■ 第3号土坑(A-A') (B-B') (A-B)

- 1 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (粘り強, 黄灰色土 2.5Y-4/1 粘)
- 2 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量)
- 3 暗灰黄色土 2.5Y-4/2
- 4 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (一部黄褐色土 2.5Y-5/2 粘)
- 5 黄褐色土 2.5Y-3/2 (微細) (黄灰色土 2.5Y-4/2 の粘り及び黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック)
- 6 暗オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック粘, 少量シルト質)
- 7 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2
- 8 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (一部シルト質)



#### ■ 第4号土坑(A-A') (B-B)

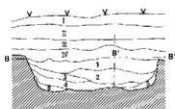
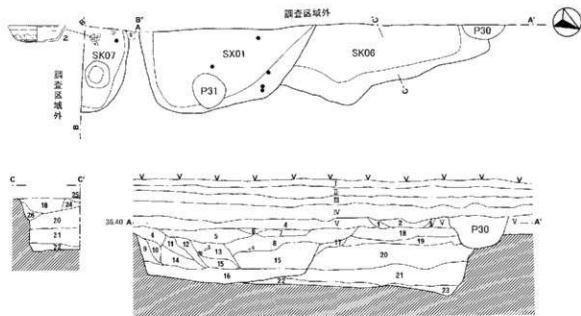
- 1 正褐色土 2.5Y-2/2 (微細) (砂質) (黄灰色土 2.5Y-4/2 粘)
- 2 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量及び Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量)
- 3 正褐色土 2.5Y-2/1 (土質) (粘り強, 粘り強, 若干黄灰色土 2.5Y-4/1 粘, 少々粘り強)
- 4 黄褐色土 10YR 3/1 (暗灰色土 10YR 4/1 及び Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量)
- 5 正褐色土 10YR 3/1 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量)
- 6 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (粘り強) (正褐色土 2.5Y-4/2 粘り強, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック粘)
- 7 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量, 黄灰色土 2.5Y-4/1, 土質粘り, 粘り強)
- 8 暗褐色土 2.5Y-3/2 (灰白色土 2.5Y-4/1 粘り強, 黄灰色土 2.5Y-4/1 粘り強)
- 9 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (微細) (黄灰色土 2.5Y-4/1 粘)
- 10 暗オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (一部暗オリーブ褐色土 2.5Y-5/2 粘)
- 11 黄褐色土 2.5Y-3/1 (少々砂質)
- 12 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (一部シルト質)
- 13 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (粘り強)
- 14 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (粘り強) (正褐色土 2.5Y-4/2 粘り強)
- 15 黄褐色土 10YR 3/1 (粘り強, 少々粘り強)
- 16 黄褐色土 10YR 3/1 (土質粘り, 少々粘り強)

#### ■ 第5号土坑(A-A'-A') (B-B)

- 1 オリーブ褐色土 2.5Y-3/1 (黄褐色土 2.5Y-5/2, 黄褐色土 2.5Y-2/1 プロック粘, 黄灰色土 2.5Y-4/1, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量)
- 2 黄褐色土 2.5Y-2/1 (黄灰色土 2.5Y-4/1 粘り強) (粘り強)
- 3 黄褐色土 2.5Y-2/1 (黄灰色土 2.5Y-4/1 粘り強) (粘り強, 黄褐色土 2.5Y-3/2 粘り強, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量)
- 4 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/1 (一部暗灰黄色土 2.5Y-4/2 粘)
- 5 オリーブ褐色土 2.5Y-3/1 (黄褐色土 2.5Y-4/2 プロック少量, 黄灰色土 2.5Y-4/1 粘り強, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量)
- 6 オリーブ褐色土 2.5Y-3/1 (粘り強) (黄褐色土 2.5Y-4/2 粘り強, 土質粘り, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量, 黄灰色土 2.5Y-4/1 粘り強)
- 7 黄褐色土 2.5Y-2/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量, 少々粘り強)
- 8 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量, 土質粘り)
- 9 暗オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 少量, 140少量)
- 10 暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/1 (一部暗灰黄色土 2.5Y-4/2 粘り強, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量)
- 11 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量, 黄灰色土 2.5Y-4/1 少量, 粘り強)
- 12 暗オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック粘, Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量, 少々粘り強)
- 13 黄褐色土 2.5Y-3/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 粘り強, 黄褐色土 2.5Y-4/1 粘り強, 少々粘り強)
- 14 黄褐色土 2.5Y-3/2 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量, 黄灰色土 2.5Y-4/1 粘り強)
- 15 オリーブ褐色土 2.5Y-3/2
- 16 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 少量, 及び Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量)

0 2m 10m

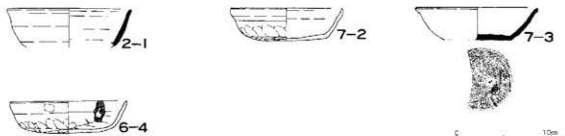
第22図 第1号～第5号土坑



- 第7号土坑(南-北) (40 釐)
1. 高黄色土 2.5Y-3/1 黄次色土 2.5Y-4/1, 少クプロック有, 少ク灰リブ色土 5Y-4/2 粘土有, 炭化物
  2. 灰リブ色土 5Y-4/2 炭化物, 土器片
  3. 灰リブ色土 5Y-4/2 炭化物中心, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック有
  4. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (鉄屑土, 炭化物及(少)骨片混在)
  5. 黄灰色土 2.5Y-4/2 (炭化物, 土器片有, 砂質土, 少ク物量に灰褐色土 3.5YR-4/2 プロック有)
  6. 高褐色土 10YR-5/1 (土器片, 少ク骨片)

0. 灰褐色土 薄層 (第7号土坑, 竹筒中埋藏物 SX1, 並ニ骨片土) (A-A' (10-C') (10 釐)
1. 高黄色土 2.5Y-4/2 (少ク砂質土)
2. 高褐色土 2.5Y-5/2 (微塵に高褐色土 2.5Y-5/2 粘土有)
3. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (少ク砂質有)
4. オリーブ褐色土 5Y-3/1 (砂質土, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック有, 土器片有)
5. オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック有, FeO 少量有, 土器片)
6. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 少量有)
7. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/2 少量)
8. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック有, FeO 少量, 土器片有, 黄褐色土 2.5Y-4/2 有)
9. オリーブ褐色土 5Y-3/1 (14 釐埋し, 土器片有, 土器片有)
10. 灰リブ色土 5Y-4/2 (炭化物有, 土器片有)
11. 灰リブ色土 5Y-4/2 (炭化物有, 土器片有)
12. 高黄色土 2.5Y-4/2 (少ク砂質土, 一層シムル質有)
13. オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (孔あいてる, 少砂有, 土器片, 炭化物有)
14. オリーブ褐色土 5Y-4/2 (土器片有)
15. オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (土器片有, 土器片有)
16. オリーブ褐色土 5Y-3/1 (少ク砂質土, 黄灰色土 2.5Y-4/1 粘質土一部有)
17. 高褐色土 2.5Y-3/1 (砂質土)
18. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (黄灰色土 2.5Y-4/1 粘土, プロック少量)
19. オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (少ク砂質土, 黄灰色土 2.5Y-4/1 粘土)
20. 灰リブ色土 2.5Y-4/2 (少ク粘土, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量, 土器片有)
21. 灰リブ色土 5Y-4/1 (砂質土, 黄灰色土 2.5Y-4/1 プロック少量有)
22. 灰リブ色土 5Y-4/2 (砂質土)
23. 高褐色土 2.5Y-5/2 (埋リブ色土 5Y-4/4 粘土, 砂土)
24. 暗灰黄色土 2.5Y-4/2 (少ク砂有)
25. 高褐色土 2.5Y-5/2
26. 高黄色土 2.5Y-3/2 (FeO 少量有)

第23図 第6・7号土坑・性格不明遺構



第24図 第2・6・7号土坑出土遺物

第7表 第2号・6号・7号土坑出土遺物観察表 (第24図)

番号	遺構	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	SK2	須恵器杯	口径 (13.2) 残存高4.1	内外面ナデ痕	A, B, G, I, M, N	黄灰2.5Y-6/1	普通	15%	
2	SK7	土師器杯	口径11.9 器高3.4		I, K, M	にぶい橙7.5YR-6/4	普通	80%	
3	SK7	須恵器杯	口径 (12.8) 残存高3.4	内外面ヘラケズリ痕有 回転糸切痕有 周辺ヘラケズリ	A, B, I, J, N	灰2.5Y-7/1	良好	30%	
4	SK6	土師器杯	口径12.3 器高3.4	内外面口縁部ヨコナデ痕 内面著しい摩耗 内面油煙, スス付着	I, J, K, M	橙5YR-6/6	普通	80%	

平面プラン長方形で、規模は長軸0.62m、短軸0.36m、深さ0.12mであった。

土層はほぼ水平に堆積していることから自然堆積と判断できる。落ち込みは鋭角で、底部に到ってはほぼ平坦であった。覆土は下部の2層が砂質土であった。

出土遺物は土師器杯の完形に近い燈明皿が検出された。それ以外は図示可能な遺物ではなかった。

時期は8世紀後半～9世紀初頭と推定される。

#### 第7号土坑（第23図、第7表）

E-7グリッドから検出した。平面プランは楕円形と推測され、規模は検出長軸0.67m、短軸0.40m、深さ0.10mであった。落ち込みは鋭角で、落ち込んだ先の底部はいくらか窪んでおり、中央部分は平坦な底部となっている。土層堆積もほぼ自然堆積と判断して問題ないと思われる。なお本土坑の床面にさらにピット状の落ち込みがあった。

出土遺物は土師器杯、須恵器杯が検出された。それ以外は図示可能な遺物ではなかった。

時期は8世紀後半～9世紀初頭と推定される。

## 4 ピット

ピットは、総じて34基検出した。A区では数にして18基、B区では11基検出された。C区では全部で5基確認された。大多数のピットからは出土遺物はほぼ検出されなかった。

以下ピットごとに詳細を記載する。

#### 第1号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。第1号住居跡と重複関係にあり、一部第1号住居跡に切られていた。

平面プランは円形で推定することが可能で、規模は長軸0.70m、短軸0.68m、深さ0.29mであった。

土層中から噴砂を確認した。底部はいびつな落ち込みを呈する。出土遺物は検出されなかった。

#### 第2号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。

平面プランは円形で、規模は長軸0.84m、短軸0.75m、深さ0.40mであった。

落ち込みは鋭角であった。特に出土遺物は検出されなかった。

#### 第3号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.38m、短軸0.32m、深さ0.22mであった。

出土遺物は検出されなかった。

#### 第4号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.40m、短軸0.30m、深さ0.17mであった。

底部はいびつであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第5号ピット（第25図）

D-2グリッドから検出した。

平面プランは円形で、規模は長軸0.35m、短軸0.34m、深さ0.14mであった。

落ち込みは2つのピット状に検出された。出土遺物は検出されなかった。

#### 第6号ピット（第25図）

C-2グリッドから検出した。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.70m、短軸0.45m、深さ0.31mで

あった。覆土の堆積状況は自然堆積によるものであった。底部はやや陥没するような呈である。出土遺物は検出されなかった。

#### 第7号ビット (第25図)

C-2グリッドから検出した。第8号ビットと重複関係にあり、一部を第8号ビットに切られていた。平面プランは円形で、規模は長軸0.36m、短軸0.29m、深さ0.22mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第8号ビット (第25図)

C-2グリッドから検出した。第7号ビットと重複関係にあり、第7号ビットを切っていた。平面プランは楕円形と推定され、規模は長軸0.81m、検出短軸0.33m、深さ0.53mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第9号ビット (第25図)

C-2グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.40m、短軸0.34m、深さ0.22mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第10号ビット (第25図)

D-2グリッドから検出した。第3号土坑に近接する。平面プランは少々歪な円形で、規模は長軸0.44m、短軸0.38m、深さ0.28mであった。落ち込みが、東側からは鋭角で、西側はいくぶんなだらかであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第11号ビット (第25図)

D-2グリッドから検出した。第3号土坑に近接する。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.42m、短軸0.34m、深さ0.28mであった。底部が若干不整形であった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第12号ビット (第26図)

D-2グリッドから検出した。平面プランは隅丸方形で、規模は長軸0.74m、短軸0.47m、深さ0.20mであった。遺物が数点出土し、形が判断できるものとしては、土師器杯片の一点のみであった。

#### 第13号ビット (第26図)

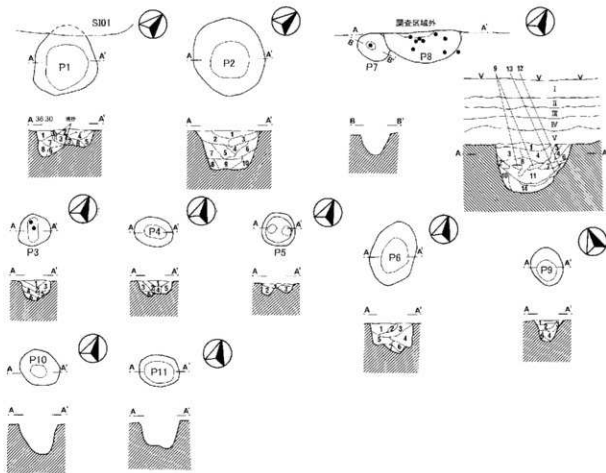
D-2グリッドから検出した。サブトレンチを北壁に沿って入れたため、一部欠損している。平面プランは円形で、規模は長軸0.34m、短軸0.28m、深さ0.22mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第14号ビット (第26図)

D-2グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.42m、短軸0.39m、深さ0.12mであった。落ち込みはやや南西に寄っている。出土遺物は須恵器の杯片が確認できたのみであった。時期は大体9世紀前半と推定される。

#### 第15号ビット (第26図)

D-2グリッドから検出した。第16号ビットに近接している。平面プランは円形で、規模は長軸0.72m、短軸0.60m、深さ0.18mであった。緩やかな落ち込みで、覆土も自然堆積を呈していた。出土遺物は検出されなかった。



第1号ピット(A-A') (A区)

- 1.オリーブ褐色土 2.5Y-4/1 一部に黒炭粒土 2.5Y-4/1 ブロック有;
- 2.黄褐色土 2.5Y-5/1(少量); Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>及び黄鉄鉱土 2.5Y-4/1(有);
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 ブロック及び砂子多量に有);
- 4.オリーブ褐色土 2.5Y-4/2(暗灰黄色土 2.5Y-5/2 砂子少量に有);
- 5.暗灰黄色土 2.5Y-4/2;
- 6.黄褐色土 2.5Y-3/2(少量黄鉄鉱土 2.5Y-4/2 少量);
- 7.オリーブ褐色土 2.5Y-4/2(一部黄鉄鉱土 2.5Y-5/3 有、及び黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 少量);
- 8.黒褐色土 2.5Y-3/2(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量及び黄鉄鉱土 2.5Y-4/1)ブロック有、少々シルト有;
- 9.黒褐色土 2.5Y-3/2(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量、黄鉄鉱土 2.5Y-4/1)

第2号ピット(A-A') (A区)

- 1.赤褐色土 10YR-6/2(赤心粘質土黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 若干有);
- 2.オリーブ褐色土 2.5Y-4/1(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 ブロック多量に有、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量、一部シルト有);
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 ブロック若干に有);
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2;
- 5.黄褐色土 2.5Y-3/2(一部に暗灰黄色土 2.5Y-4/2 少量);
- 6.オリーブ褐色土 2.5Y-3/3(一部に黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 ブロック有);
- 7.黄褐色土 2.5Y-3/2(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量、中量、黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 少量に有);
- 8.黄褐色土 2.5Y-3/1(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>有);
- 9.暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/1(一部に黒褐色土 2.5Y-3/2、若干シルト有);
- 10.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部黄褐色土 2.5Y-3/2、若干黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 有、少量シルト有);

第3号ピット(A-A') (A区)

- 1.赤オリーブ褐色土 5Y-4/1(少量Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>有);
- 2.赤オリーブ褐色土 5Y-4/2(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量、一部シルト有);
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 ブロック有、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量);
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(赤オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 有、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量、ごく少量に黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 有);
- 5.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(砂質土);
- 6.黄褐色土 2.5Y-3/1(一部シルト有、全体粘質土);

第4号ピット(A-A') (A区)

- 1.赤オリーブ褐色土 5Y-4/1(一部に黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 有);
- 2.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少量Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>有);
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 少量);
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 ごく少量に有);
- 5.赤オリーブ褐色土 5Y-4/2(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 少量に有);
- 6.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少量砂質土、黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 多量に有);

第5号ピット(A-A') (A区)

- 1.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土、黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 有);
- 2.暗オリーブ褐色土 2.5Y-3/1(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 少量);
- 3.暗オリーブ褐色土 5Y-4/2(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量及び黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 有、少々シルト有);

第6号ピット(A-A') (A区)

- 1.オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量);
- 2.黄鉄鉱土 2.5Y-4/1(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量);
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1)ブロック、砂子有、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量に有);
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少量砂質土);
- 5.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量に有、黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 少量);
- 6.灰(オリーブ)褐色土 5Y-4/2(一部シルト有);
- 7.オリーブ褐色土 5Y-3/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 少量に有);

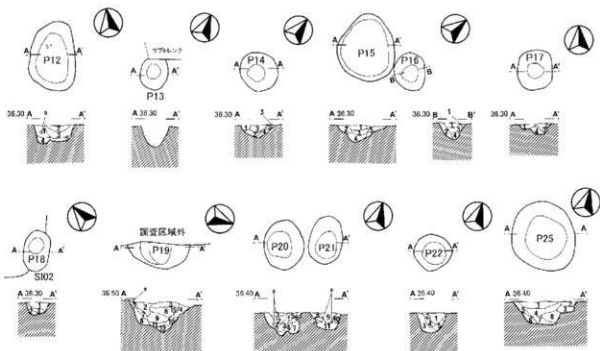
第7号ピット(A-A') (A区)

- 1.黄褐色土 10YR-6/2: 部に黒褐色土 10YR-3/1 有、暗灰黄色土 2.5Y-3/6 砂子多量に有);
- 2.黄褐色土 10YR-3/1(赤褐色土 2.5Y-3/3 砂子少量に有、暗灰黄色土 10YR-4/1 少量);
- 3.黄褐色土 2.5Y-3/2(一部黄褐色土 10YR-3/1 有);
- 4.黄褐色土 10YR-3/1(一部に黄褐色土 10YR-4/1 少量);
- 5.一部に黄褐色土 10YR-4/2(黄褐色土 10YR-3/1 少量);
- 6.黄褐色土 2.5Y-1(一部に黄褐色土 10YR-4/2 少量);
- 7.黄褐色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1)ブロック有);
- 8.黄褐色土 10YR-3/1(暗灰黄色土 2.5Y-4/2 少量);
- 9.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(一部に黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 有);
- 10.黄褐色土 10YR-4/2(少量砂質土);
- 11.暗灰黄色土 2.5Y-5/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1)ブロック有、黄鉄鉱土 Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>、土器片有);
- 12.オリーブ褐色土 5Y-3/2;
- 13.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(少々砂質土);
- 14.黄褐色土 10YR-6/2(砂質土、黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 有);

第8号ピット(A-A') (A区)

- 1.黄褐色土 2.5Y-4/1(鉄質土 2.5Y-3/1 多量に有、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量);
- 2.黄褐色土 2.5Y-4/1(Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量);
- 3.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 一部、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>少量);
- 4.暗灰黄色土 2.5Y-4/2(黄鉄鉱土 2.5Y-4/1 少量、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量);
- 5.黄褐色土 2.5Y-4/1(暗灰黄色土 2.5Y-4/2 一部、Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>多量に有);

第25図 第1号~第11号ピット



第 12 号ピット(A-A') (A 区)

- 1 腐植土 2.5Y-4/1
- 2 オリーブ褐色土 2.5Y-4/4 (少量腐植土 2.5Y-4/1 少量)
- 3 1-1 腐植土 2.5Y-4/1 (w) (少量腐植土、2 区層に黄褐色土 2.5Y-4/1 ブロック有、少々砂質土)
- 4 腐植褐色土 2.5Y-4/2
- 5 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (砂質土、一部 FeO 有)

第 14 号ピット(A-A') (A 区)

- 1 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (2 区層に黄褐色土 2.5Y-4/1 有)
- 2 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (FeO 少量有)
- 3 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (1-1 腐植土有)
- 4 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (FeO 少量、黄褐色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 5 腐植褐色土 10YR-3/1 (腐植土少量有)

第 15 号ピット(A-A') (A 区)

- 1 腐植オリーブ土 5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 一部有)
- 2 腐植オリーブ土 5Y-4/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1 少量有)
- 3 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (腐植土 FeO 有)
- 4 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (少量、黄褐色土 2.5Y-4/1 有)
- 5 腐植オリーブ土 5Y-4/2 (FeO 少量有)

第 16 号ピット(A-A') (A 区)

- 1 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (2 区層に黄褐色土 2.5Y-4/1 有)
- 2 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (FeO 少量、黄褐色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 3 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (FeO 少量、黄褐色土 2.5Y-4/1 有)
- 4 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (1-1 腐植土有、FeO 少量、黄褐色土 2.5Y-4/1 有)

第 17 号ピット(A-A') (A 区)

- 1 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (2 区層に黄褐色土 2.5Y-4/1 有)
- 2 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (1-1 腐植土有)
- 3 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (FeO 少量、黄褐色土 2.5Y-4/1 有)
- 4 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (FeO 少量、黄褐色土 2.5Y-4/1 有)

第 18 号ピット(A-A') (A 区)

- 1 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (2 区層に黄褐色土 2.5Y-4/1 有)
- 2 腐植土 2.5Y-4/1 (FeO 少量有)
- 3 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 少量)

第 19 号ピット(A-A') (B 区)

- 1 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (腐植土オリーブ褐色土 2.5Y-4/4 少量有)
- 2 オリーブ褐色土 2.5Y-4/4 (黄褐色土 2.5Y-4/1 少量有)
- 3 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 少量有)
- 4 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (少々 FeO 有)
- 5 オリーブ褐色土 5Y-2/2 (腐植土少量有)
- 6 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1、FeO 少量)
- 7 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (FeO 少量有)
- 8 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1、FeO 少量)
- 9 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1、FeO 少量)
- 10 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (少々 FeO 有)
- 11 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (1-1 腐植土有、黄褐色土 2.5Y-4/1 少量有、少々 FeO 有)
- 12 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (腐植土、少量 FeO 有)

第 20 号ピット-21 号ピット(A-A') (B 区)

- 1 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (腐植土オリーブ褐色土 2.5Y-4/4 ブロック有)
- 2 オリーブ褐色土 2.5Y-4/4 (黄褐色土 2.5Y-4/1 少量有)
- 3 オリーブ褐色土 2.5Y-4/2 (腐植土 2.5Y-4/1 少量有)
- 4 オリーブ褐色土 5Y-3/1 (黄褐色土 2.5Y-4/1 少量有)
- 5 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (少々砂質土)
- 6 腐植褐色土 2.5Y-4/2
- 7 腐植褐色土 2.5Y-2/2 (砂質土)
- 8 腐植褐色土 10YR-4/1 (FeO 少量有)
- 9 1-1 に黄褐色土 10YR-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 ブロック有、腐植土 FeO 有)
- 10 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (少量 FeO 有)
- 11 1-1 に黄褐色土 10YR-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1、FeO 少量)

第 22 号ピット(A-A') (B 区)

- 1 腐植褐色土 2.5Y-4/2
- 2 腐植褐色土 2.5Y-6/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 のブロック少量有)
- 3 腐植オリーブ土 5Y-4/2 (少々砂質土、黄褐色土 2.5Y-4/1 ブロック少量)
- 4 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 少量一部有)
- 5 腐植褐色土 2.5Y-5/2 (少々砂質土、腐植土黄褐色土 2.5Y-5/4 (少量有)

第 25 号ピット(A-A') (B 区)

- 1 腐植褐色土 2.5Y-3/2 (少量有、黄褐色土 2.5Y-4/1 少量有)
- 2 腐植褐色土 10YR-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 ブロック有)
- 3 腐植褐色土 10YR-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 少量、まばら有、腐植土にオリーブ褐色土 2.5Y-3/2 有)
- 4 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-5/1、ブロック少量有、FeO 少量有)
- 5 腐植褐色土 2.5Y-4/2
- 6 2 区層に 2.5Y-3/2 (腐植土、黄褐色土 2.5Y-4/1 少量、FeO 少量有)
- 7 腐植オリーブ褐色土 2.5Y-3/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 少量、FeO 少量有)
- 8 腐植褐色土 2.5Y-4/2 (黄褐色土 2.5Y-4/1 及び FeO 少量有)



第26図 第12号～第22号・第25号ピット

#### 第16号ピット (第26図)

D-2グリッドから検出した。第15号ピットに近接している。平面プランは円形で、規模は長軸0.40m、短軸0.30m、深さ0.17mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第17号ピット (第26図)

C-2グリッドから検出した。平面プランは隅丸方形で、規模は長軸0.43m、短軸0.35m、深さ0.1mであった。西からの緩やかな落ち込みで、覆土も自然堆積を呈していた。出土遺物は検出されなかった。

#### 第18号ピット (第26図)

C-2グリッドから検出した。第2号住居跡と重複関係にあり、第2号住居後を切っていた。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.45m、短軸0.26m、深さ0.12mであった。断面から覆土は自然堆積と判断できる。出土遺物は検出されなかった。

#### 第19号ピット (第26図)

B-4、5グリッドにまたがって検出した。大半が調査区域外にある。平面プランは円形と推定され、規模は長軸0.82m、検出短軸0.26m、深さ0.31mであった。底部はいくらか窪んでおり、最下層の土層では砂質土となり、小礫が検出された。出土遺物は検出されなかった。

#### 第20号ピット (第26図)

B-4グリッドから検出した。第21号ピットと近接している。平面プランは円形で、規模は長軸0.52m、短軸0.42m、深さ0.24mであった。底部はかなり凸凹していた。数点の礫を検出したが、出土遺物は検出されなかった。

#### 第21号ピット (第26図)

B-4グリッドから検出した。第20号ピットを近接している。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.50m、短軸0.34m、深さ0.18mであった。埋土中に数点の礫を検出したが、それ以外の出土遺物は検出されなかった。

#### 第22号ピット (第26図)

B-4グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.42m、短軸0.39m、深さ0.20mであった。鋭角な落ち込みで、覆土も自然堆積を呈していた。出土遺物は検出されなかった。

#### 第23号ピット (第27図)

B-4グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.42m、短軸0.38m、深さ0.34mであった。出土遺物は検出されなかった。

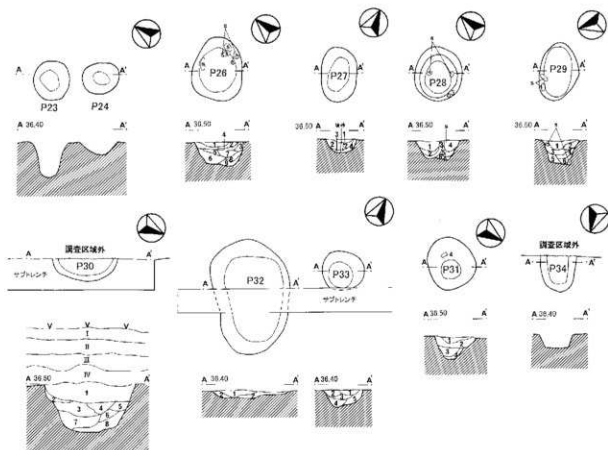
#### 第24号ピット (第27図)

B-4グリッドから検出した。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.39m、短軸0.34m、深さ0.12mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第25号ピット (第26図)

B-4グリッドから検出した。平面プランはほぼ円形で、規模は長軸0.73m、短軸0.64m、深さ0.24mであった。落ち込みに一貫性がなく、一部でなだらかで、一部で鋭角な落ち込みである。断面から覆土は東からの自然堆積と判断できる。出土遺物は検出されなかった。





第23号ピット(A-A') (B区)

1. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(灰白色土 10YR 4/1 微量に含)
2. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(FeO無量、灰黄褐色土 10YR-4/2、炭化植物)
3. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(微量に含)土 2.5Y-4/1(土、FeO微量、少々砂質土)
4. 黄灰色土 2.5Y-4/1(微量に含)土、微小礫
5. 黄灰色土 2.5Y-4/1(灰色土 5Y-4/1、微小礫土 2.5Y-7/1(ブロック有)
6. 灰黄褐色土 10YR 4/2(灰色土 5Y-4/1 有)
7. 灰黄褐色土 10YR-4/2(灰白色土 2.5Y-4/1 多量に含、少々砂質土)
8. 灰黄褐色土 10YR-4/2(少々砂質土、土塊有)
9. 黄褐色土 10YR-3/1(少々黄質土)

第24号ピット(A-A') (B区)

1. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(灰白色土 2.5Y-4/1) ブロック多量、FeO少量含)
2. 黄褐色土 2.5Y-3/2(一断面灰白色土 2.5Y 4/1 有)
3. 黄褐色土 2.5Y-3/2(FeO少量、少々黄質土)
4. オリーブ黄色土 5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1 微量)

第25号ピット(A-A') (B区)

1. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(灰白色土 2.5Y-4/1) 多量、FeO微量)
2. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(多量)
3. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2)
4. 灰黄色土 10YR-4/2(黄褐色土 10YR-3/1)
5. 黄褐色土 10YR 3/2(少々粒状に灰白色土 2.5Y 4/1) の小ブロック有
6. 緑灰黄色土 2.5Y-3/2(緑褐色土 10YR-3/2が混ざり、少々砂質土)

第26号ピット(A-A') (B区)

1. オリーブ褐色土 2.5Y-4/4(緑灰黄色土 2.5Y-6/2 少々混ざり含)
2. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(灰白色土 2.5Y-4/1) 微量に含)
3. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO有)
4. 黄褐色土 2.5Y-3/2(灰白色土 2.5Y-4/1、FeOを微量に含)
5. 黄褐色土 2.5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeOを微量に含、少々シルト質)
6. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(一断面黄質土)

第27号ピット(A-A') (C区)

1. 緑灰黄色土 2.5Y-4/2(微量に含)褐色土 2.5Y-5/3 超子有、消焼褐色土 2.5Y-6/6(ブロック有)
2. 黄褐色土 2.5Y-3/2)
3. 灰オリーブ褐色土 5Y-4/2(微量に含)、FeO少量、ひんがし層に黄褐色土 2.5Y-5/7 有、少々片有)
4. オリーブ黄色土 2.5Y-3/2(一断面消焼褐色土 2.5Y-5/3(ブロック有)
5. 灰オリーブ褐色土 5Y-4/2(一断面黄褐色土 2.5Y-3/2(ブロック有)
6. 灰オリーブ褐色土 5Y 4/2(10より上) 細かい、わずかに砂質土)
7. オリーブ黄色土 2.5Y-3/2(10より上)
8. オリーブ黄色土 2.5Y-3/2(砂質土)

第28号ピット(A-A') (C区)

1. 褐色土 2.5Y-2/1)
2. オリーブ黄色土 7.0Y-3/2(黄褐色土 2.5Y-4/1) (ブロック有)
3. 灰オリーブ褐色土 5Y-4/2)
4. 灰オリーブ褐色土 5Y 4/2(砂質土)

第29号ピット(A-A') (C区)

1. オリーブ褐色土 5Y-3/1(FeO少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 有)
2. 灰オリーブ褐色土 5Y-4/2(FeO少量、黄灰色土 2.5Y-4/1 有)

第30号ピット(A-A') (C区)

1. 緑灰黄色土 2.5Y 4/2(黄灰色土 2.5Y-4/1、FeO少量含)
2. オリーブ褐色土 5Y-3/2(黄灰色土 2.5Y-4/1) 少量)
3. 緑灰黄色土 2.5Y 4/2(一断面オリーブ褐色土 5Y-4/3 有)
4. オリーブ褐色土 2.5Y-4/2(土塊有)
5. オリーブ褐色土 2.5Y 4/2(断面オリーブ褐色土 5Y-4/3 有)

第27図 第23号・24号、第26～34号ピット

#### 第26号ピット (第27図)

B-4グリッドから検出した。平面プランは円形で、規模は長軸0.67m、短軸0.52m、深さ0.24mであった。数点の礫を検出したが、出土遺物は検出されなかった。

#### 第27号ピット (第27図)

A-4グリッドから検出した。第2号住居跡と重複しており、第2号住居跡の上に掘り込んでいた。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.58m、短軸0.37m、深さ0.13mであった。底部から10cmにわたっての噴砂を確認した。出土遺物は検出されなかった。

#### 第28号ピット (第27図)

A-4グリッドから検出した。第2号住居跡と重複しており、第2号住居跡の一部を切っていた。平面プランは円形で、規模は長軸0.60m、短軸0.50m、深さ0.18mであった。鋭角な落ち込みで、2回にわたっての掘り込みが確認できた。覆土も自然堆積を呈していた。土師器の裏片を遺物として一点検出できた。9世紀初頭と推定される。

#### 第29号ピット (第27図)

A-4グリッドから検出した。第2号住居跡と重複しており、第2号住居跡の一部を切っていた。平面プランは楕円形で、規模は長軸0.60m、短軸0.42m、深さ0.24mであった。落ち込みは鋭角で、底部は平らになっている。覆土は自然堆積と考えられる。出土遺物は検出されなかった。

#### 第30号ピット (第27図)

F-6グリッドから検出した。第6号土坑と重複関係にあり、第6号土坑を切っていた。平面プランは円形と推定され、規模は長軸0.68m、推定短軸0.26m、深さ0.52mであった。断面から覆土は自然堆積と判断できる。出土遺物は検出されなかった。

#### 第31号ピット (第27図)

E-6グリッドから検出した。性格不明遺構(SX01)と重複関係にあり、SX01を切っていた。平面プランは円形で、規模は長軸0.58m、短軸0.49m、深さ0.26mであった。落ち込みは一方で鋭角に落ち、他方は緩やかな落ち込みを呈していた。出土遺物は須恵器裏片のみで、時期判断が出来なかった。

#### 第32号ピット (第27図)

E-6グリッドから検出した。第5号住居跡と重複しており、第5号住居跡の上に掘り込んでいた。平面プランはいびつな楕円形で、規模は長軸1.22m、短軸0.81m、深さ0.08mであった。出土遺物は検出されなかった。

#### 第33号ピット (第27図)

E-6グリッドから検出した。第5号住居跡と重複しており、第5号住居跡の上に掘り込んでいた。平面プランは円形で、規模は長軸0.45m、短軸0.40m、深さ0.18mであった。覆土は自然堆積を呈していた。特に出土遺物は検出されなかった。

#### 第34号ピット (第27図)

E-7グリッドから検出した。平面プランは楕円形と推定され、規模は長軸0.48m、検出短軸0.38m、深さ0.12mであった。落ち込みは鋭角で、底部は平らになっている。出土遺物は検出されなかった。



第28図 第12号・14号・31号ビット出土遺物

第8表 第12号・14号・31号ビット出土遺物観察表 (第28図)

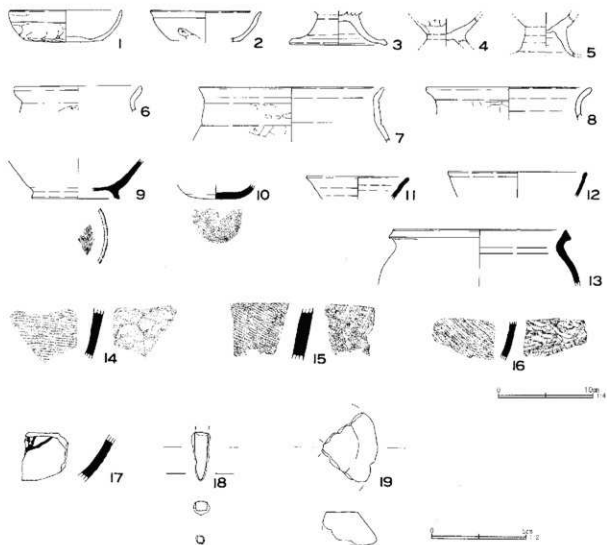
番号	遺構	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	P12	土師器 杯	口径 (12.8) 残存高2.6		A, B, G, I, K, N	橙5YR-6/6	普通	15%	
2	P14	須恵器 杯	口径 (-) 残存高2.0 残存底部8.2	回転糸切痕有 周囲ヘラズリ 内外面ナデ痕有	A, L	灰白5Y-7/1	良好	20%	末野産
3	P28	土師器 壺	口径 (20.2) 残存高 (4.2)	外面粘土紐積上痕有	A, E, G, N	赤褐5YR-4/6	普通	口縁の20%	
4	P31	須恵器 壺	-	外面平行叩き目痕有	A, B, L	白灰2.5Y-7/1	良好	胴部片	

## 5 遺構外出土遺物 (第29図 第9表)

遺構外出土遺物については第29図、第9表のとおりである。

第9表 遺構外出土遺物観察表 (第29図)

番号	器種	法量 (cm)	手法・形態の特徴等	胎土	色調	焼成	残存率	備考
1	土師器 杯	口径 (11.7) 残存高8.3	底部ヘラズリ 内外面ナデ痕	A, B, D, I, J, K, M	橙5YR-6/6	普通	50%	
2	土師器 杯	口径 (11.8) 残存高3.2		A, B, G, I, K, N	明赤褐5YR-5/6	普通	20%	
3	土師器 台付壺	残存高3.5 残存底径10.4		A, B, E, I, K, M	明赤褐2.5YR-5/8	良好	高台部の60%	
4	土師器 台付壺	残存高3.0		A, E, I, M	にぶい赤茶5YR-5/3	良好	器底、高台部	
5	土師器 台付壺	残存高4.7		A, B, E, H, I, M	明赤褐2.5Y-5/6	良好	器底、高台部	
6	土師器 壺	口径13.8	口縁部やや「コ」の字状	A, B, C, I	明赤褐5YR-5/6	普通	口縁部の15%	
7	土師器 壺	口径 (19.8) 残存高5.8	口縁部「コ」の字状 外面、指頭圧痕有	A, E, I, K, M, O	橙2.5YR-6/6	普通	口縁の20%	
8	土師器 壺	口径 (17.6) 残存高3.5	口縁部「コ」の字状	A, C, E, I, M	橙5YR-6/8	普通	口縁部の10%	
9	須恵器 台付椀	残存高4.3 残存底径8.8	外面、底部ヘラズリ 内面ナデ痕有	A, B, L	灰白5Y-7/1	良好	高台部の20%	末野産
10	須恵器 杯	口径 (-) 残存高1.6	内面、外面底部火押有 底部回転糸切、調整なし	A, B, D, M	灰5Y-5/1	良好	底部の60%	末野産
11	須恵器 杯	口径 (11.0) 残存高2.6	内面火押有 外面ナデ痕	A, B, D	灰10Y-6/1	良好	口縁部の10%	末野産
12	須恵器 杯	口径 (14.9) 残存高2.7	自然釉染 内面ヨコナデ痕有	A, B, L	灰N-4/	良好	破片	末野産
13	須恵器 壺	口径 (18.4) 残存高5.9	内外面ヨコナデ痕有	A, L	灰N-6/	良好	口縁部の15%	
14	須恵器 壺	-	外面平行叩き目有	A, B, L	褐灰10YR-6/1	良好	胴部片	末野産
15	須恵器 壺	-	外面平行叩き目有	A, I, L	灰5Y-4/1	良好	胴部片	末野産
16	須恵器 壺	-		A, I, L	灰5Y-5/1	良好	胴部片	末野産?
17	須恵器 杯	-	内面火押有 外面ナデ痕	A, B, F	黄灰2.5Y-6/1	良好	破片	末野産?
18	紡錘車	最大径 (.) 最大厚 (18.5) 重量 13g			回転によるハケ目痕有	普通	25%	
19	鉄釘?	最大幅 (1.0) 最大厚 (0.8) 残存長3.1 重量2.5g				普通		酸化が著しい



第29図 遺構外出土遺物

## V 調査のまとめ

今回の調査は、遺物の検出箇所が比較的住居跡から顕著に見られた。その検出された遺物の多くが9世紀代の土師器、須恵器であり、過去に行った本遺跡の主体的な時期が9世紀代であったため、今回の調査箇所との関係性は必然と考えられる。

また、今回の調査区で住居跡から羽口及び鉄滓が検出されたため、鉄製品の精製を行っていたことが想定される。しかし、それ以外に関連できる遺物や、製品としての遺物が検出されていないため、それらの遺物からでは、背景を想定するからは難しい。また今回の調査で、土器類が遺構ごとに保存状態が良い形で確認することができ、中でも住居跡のカマド部分では当時の生活の痕跡がわかる状態で裏がほぼ完形の形に検出できたことは今後の良い資料になった。

今回の調査は、限定的な箇所での調査となったため、集落の全体像を想定するには資料が不足していることから、今後の発掘調査での情報の蓄積に期待したい。

※参考文献は紙数の都合上、割愛させていただいた。

# 写 真 图 版



A区全景 (東から)



B区全景 (南から)

図版 2



C区全景（南東から）



第1号住居跡 遺物出土（A区）南から



第1号住居跡 遺物（A区）



第1号住居跡 遺物（A区）



第1号住居跡 全景（A区）（西から）



第2号住居跡 全景 (A区) (北から)



第3号住居跡 (B区) (遺物・床礫堆積)



第3号住居跡 全景 (B区) (北から)



第4号住居跡 カマド遺物 (B区)



第4号住居跡カマド 断面 (B区)



第4号住居跡 全景 (B区) (北から)



第5号住居跡 カマド土層 (C区)



第5号住居跡 カマド遺物 (C区)



# 図版 4



第5号住居跡 鉄製品 (C区)



第5号住居跡 全景 (C区) 西から



第5号土坑 (B区) (東から)



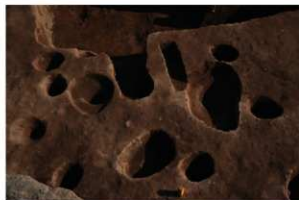
第6号土坑及びSX01 (C区) (西から)



第7号土坑 (C区) (南から)



左から第4、3号溝跡 (B区)



第3号土坑、第9～18号ピット (A区)



第19～24号ピット (B区)



第1号～4号ビット (A区)



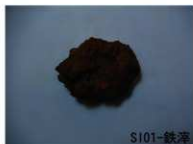
第9図-4



第9図-7



第9図-8



S101-鉄滓



第11図-1



第11図-12



第11図-12



第11図-11



第11図-17



第11図-18



第11図-20



第11図-28



第12図-19



第12図-14

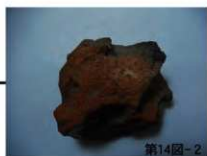
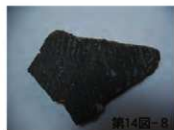


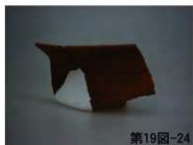
第12図-25



第12図-26

図版 6





图版 8





# 報告書抄録

ふりがな	いしわらこふんぐんV ふじのこしいせきIV							
書名	石原古墳群V 不二腰遺跡IV							
副書名								
シリーズ名	熊谷市教育委員会埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第19集							
編集者名	吉野 健 腰塚 博隆							
編集機関	埼玉県熊谷市教育委員会							
所在地	〒360-8601 熊谷市宮町2-47-1 TEL.048-524-1111							
発行年月日	西暦2015(平成27)年3月27日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収年月日	所在地	市町村	遺跡番号	(°'")	(°'")			
ふじのこしいせき 不二ノ腰遺跡	<small>くまがや し かわら せ き ぶ じ の こ しい せ き</small> 熊谷市広瀬字後田 84番の一部	11202	059-025 059-102	36° 09' 08"	139° 21' 15"	20140127 ～ 20140314	164.63	分譲住宅 建設工事
所収遺跡名	種類	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
不二ノ腰遺跡	集落跡	奈良・平安 時代	住居跡・溝跡・ 土坑	土師器・須恵器、 羽口、鉄滓				

本報告書は、編集を担当課で行い、印刷は外注により300部  
作成し、1部当たりの単価は864円です。

埼玉県熊谷市埋蔵文化財調査報告書 第19集

石原古墳群Ⅴ  
不二ノ腰遺跡Ⅳ

平成27年3月27日発行

発行/埼玉県熊谷市教育委員会

印刷/大屋印刷株式会社